

VOC排出抑制に係る自主的取組のフォローアップについて
平成25年度実績（個票）

1 日本ガス協会	2
2 日本染色協会	4
3 日本製紙連合会	6
4 日本鉄鋼連盟	8
5 電機・電子4団体	10
6 日本塗料工業会	12
7 日本自動車部品工業会	14
8 日本自動車工業会	16
9 線材製品協会	18
10 日本伸銅協会	20
11 全国鍍金工業組合連合会	22
12 日本電線工業会	24
14 日本アルミニウム協会	26
15 日本建材・住宅設備産業協会	28
16 天然ガス鉱業会	30
17 石油連盟	32
18 日本化学工業協会	36
19 日本印刷産業連合会	38
20 ドラム缶工業会	40
21 軽金属製品協会	42
22 日本プラスチック工業連盟	44
23 日本オフィス家具協会	46
24 日本表面処理機材工業会	48
25 日本自動車車体工業会	50
26 日本接着剤工業会	52
28 プレハブ建築協会	54
29 印刷インキ工業連合会	56
30 日本工業塗装協同組合連合会	58
31 日本ゴム工業会	60
32 日本自動車車体整備協同組合連合会	62
33 日本粘着テープ工業会	64
34 全国楽器協会	66
35 日本釣用品工業会	68
36 日本金属ハウスウェア工業組合	70
37 日本金属洋食器工業組合	72
39 日本ガス石油機器工業会	74
その他（産業環境管理協会）	76
物質別VOC排出量	78

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名 **日本ガス協会**
- 補足範囲
 ■ 業種 (代表的な業種) 34 ガス業
- 加盟率 100% (ガス業のうち一般ガス事業者の加盟率100%)
- 補足率 同上 (同上)
- 主な排出源
 ■ 貯蔵 ナフサタンク
- 除外・すそ切りの考え方
 ■ 対象企業 0社 (参加する全ての会社(9社)からの排出量が0となったため)
- 対象物質 ナフサ

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】
■ 全国										
使用量 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排出量	87	27	0	0	0	0	0	0	0	0
(増減率 ^{※2})	-	(▲69%)	(▲100%)	(▲100%)	(▲100%)	(▲100%)	(▲100%)	(▲100%)	(▲100%)	(▲100%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-
(参考) 地域別排出量										
■ 対策地域計	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-
(対全国比)	(0%)	(0%)	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域 ^{※3}	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域 ^{※4}	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域 ^{※5}	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

■ 排出量の推計方法

■ 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(その他の対策)

17年度に都市ガス天然ガス化計画により、ナフサタンクを全廃

■ 自己評価

全廃後、ゼロ報告を継続している。

○ その他

特になし。

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名 **日本染色協会**
- 補足範囲
 ■ 業 種 (代表的な業種) 11 繊維工業
 繊維等機械染色整理業(ただし、毛織物機械染色整理業を除く)
- 加盟率 81.2% (生産量ベース、繊維統計、ただし毛整理業を除く)
- 補足率 47.7% (同上)
- 主な排出源
 ■ 接着 ・コンバーティング加工(ラミネート、コーティング、ボンディング)の乾燥工程
 ・仕上加工の乾燥・ペーキング(形態安定加工)工程
- 印刷 ・捺染(プリント)の乾燥工程
- 除外・すそ切りの考え方
 ■ 対象企業 事業所・物質当たり年間1トン以上使用実績のある事業所を対象
- 対象物質 年間1トン以上使用実績のある物質を対象

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】
■ 全国										
使用量 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排出量	8,558	7,118	6,888	6,354	5,162	4,054	3,043	2,727	2,072	1,802
(増減率 ^{※2})	-	(▲17%)	(▲20%)	(▲26%)	(▲40%)	(▲53%)	(▲64%)	(▲68%)	(▲76%)	(▲79%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	401
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	-	-	-	-	-	-	-	-	31	32
(参考)地域別排出量										
■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(対全国比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域 ^{※3}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域 ^{※5}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

会員企業に対して、アンケート調査を実施して集計した。

■ 排出量の推計方法

①PRTR対象物質については、PRTR法と同様の排出率を採用する。②PRTR対象外物質であって、類似のPRTR対象物質がある場合はその物質を参考に排出量を推計する。③PRTR対象外物質であって、他に参考となるデータがない場合は実際に測定を行う。

■ 参加企業数の増減理由

VOC使用が年間1トン以上になったということで、参加企業が1社増えた。

- 排出抑制に貢献する対策等
 - 対策及びその効果、コスト
 - (その他の対策)
 - ・代替物質への転換
 - ・ターペン使用量の減少
 - ・回収処理装置の導入

- 自己評価

平成25年度のVOC排出削減率は平成12年度比で78.9%であり、平成22年度比では40.8%であった。対前年度比のVOC削減率も8.9ポイント向上した。VOC排出量減少の第一の要因は仕上設備で使用するイソプロピルアルコールの減少であり、これは加工素材の変動による影響が大きい。また、法規制外の小型コンバーティング設備で使用する酢酸エチル、ターペンについては、水溶性薬剤への転換等の対策が実施されて、排出量が減少した。以上、地道なVOC排出削減対策を実施していることは評価できるが、加工素材の変動による影響も大きいことから、自己評価は「B」ランクとした。

- その他
 - 特になし。

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名 **日本製紙連合会**
- 補足範囲
 ■ 業 種 (代表的な業種) 14 パルプ・紙・紙加工品製造業
- 加盟率 88.3% (紙・板紙生産量ベース、経済産業省統計)
- 補足率 99.9% (同上)
- 主な排出源
 ■ 印刷 ・印刷後の乾燥工程
 ・マスター紙の乾燥工程
 ■ 接着 ・剥離紙、粘着製品等の製造工程
- 除外・すそ切りの考え方
 ■ 対象企業 会員企業中、アンケート回答のあった企業を対象
- 対象物質 全VOCを対象

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】
■ 全国										
使用量 ^{※1}	17,536	20,568	17,692	16,149	14,817	14,111	16,470	15,435	14,061	13,943
排出量	9,533	3,819	4,212	3,708	3,272	3,202	1,317	1,324	1,219	1,252
(増減率 ^{※2})	-	(▲60%)	(▲56%)	(▲61%)	(▲66%)	(▲66%)	(▲86%)	(▲86%)	(▲87%)	(▲87%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	24	22	21	22	22	22	20	-	-	-
(参考) 地域別排出量										
■ 対策地域計	2,054	430	390	300	263	418	287	261	231	239
(対全国比)	(22%)	(11%)	(9%)	(8%)	(8%)	(13%)	(22%)	(20%)	(19%)	(19%)
関東地域 ^{※3}	2,054	430	390	300	263	418	287	261	231	239
関西地域 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域 ^{※5}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

・基本的には、購入量より在庫量を差引いた量を使用量としている。なお、薬品類等は、含有濃度を乗じて算出している。

■ 排出量の推計方法

- ・[処理装置等が無い場合] 基本的には、使用量＝排出量としているが、一部定期的に実測している事業所もある。
- ・[処理装置等有る場合] 処理装置のVOC除去量を定期的に実測し、それに基づき算出している。

■ 参加企業数の増減理由

企業合併等による。
 今年度調査から他団体に報告する社があった。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(その他の対策)

平成22年度を目標とした以前の自主行動計画の運用時は、VOC排出抑制設備の設置を中心に排出量の削減を図った。設備投資が一巡したことから、今後は薬品の代替化や製造工程の管理強化によって平成22年度比で悪化しないように努める。

■ 自己評価

以前の自主行動計画では、年間排出量が多かった5物質(トルエン、メチルエチルケトン、酢酸エチル、イソプロピルアルコール及びメタノール)を排出管理の対象としていたが、現在は排出している全ての物質(現在60物質)を管理している。それでも、全国、地域別ともにVOC排出抑制の目標とされる「基準年度比3割程度削減」に対して、87%削減と十分に達成している。

○ その他

特になし。

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名 **日本鉄鋼連盟**
- 補足範囲
 ■ 業種 (代表的な業種) 22 鉄鋼業
 鉄鋼業、金属製品製造業等
- 加盟率
- 補足率 約96%(粗鋼生産量ベース)
- 主な排出源
 ■ 塗装 ・鋼材塗装工程
 ■ 洗浄 ・ステンレス鋼材表面洗浄工程

- 除外・すそ切りの考え方
- 対象企業 ・会員であって製造業を営む企業(団体会員である普通鋼電炉工業会会員を含む)を対象
 ・ただし、常時使用する従業員20人以下の企業を集計対象から除外
- 対象物質 PRTR対象50物質とPRTR対象外15物質を対象。ただし、以下の場合には集計対象から除外。
 ①業として取り扱っている製品(製造プロセス中で精製される副生成物を含む)中の含有率1%未満(PRT
 R特定第1種物質は0.1%未満)の物質
 ②年間使用量が1トン未満(PRT R特定第1種物質は0.5トン未満)の物質

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】
■ 全国										
使用量 ^{※1}	271,333	242,018	244,356	392,961	389,524	367,290	513,420	488,312	484,372	479,873
排出量	6,992	4,518	4,537	4,355	3,996	3,133	3,043	2,777	2,365	2,252
(増減率 ^{※2})	-	(▲35%)	(▲35%)	(▲38%)	(▲43%)	(▲55%)	(▲56%)	(▲60%)	(▲66%)	(▲68%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	461
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	90	90	89	89	88	88	88	88	83	76
(参考)地域別排出量										
■ 対策地域計	3,190	2,589	2,640	2,548	2,458	1,872	1,742	1,508	1,244	1,181
(対全国比)	(46%)	(57%)	(58%)	(59%)	(62%)	(60%)	(57%)	(54%)	(53%)	(52%)
関東地域 ^{※3}	1,468	1,305	1,272	1,298	1,257	860	672	576	528	421
関西地域 ^{※4}	1,090	793	816	846	832	706	786	697	511	575
中部地域 ^{※5}	632	491	552	404	369	306	284	235	205	185

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

取扱量は、対象VOC物質を、①製品又は中間製品として製造した量、②原料、溶剤、冷媒、熱媒、混合や消費などの目的で使用した量、③非意図的に生成して排出した量を合計したものとす。詳細については「鉄鋼業におけるPRTR排出量等算出マニュアル」の「5.定義」「(1)取扱量」参照。

■ 排出量の推計方法

「鉄鋼業におけるPRTR排出量等算出マニュアル」(日本鉄鋼連盟)の「6.対象物質毎の算出の考え方」、「7.算出手順」参照。

■ 参加企業数の増減理由

会員メーカー間の統合(2社→1社)及び会員メーカーの退会(6社)のため。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(その他の対策)

《平成25年度に実施した主な対策》

会員1社で溶剤の代替化を実施した。代替化によって劇的なVOC排出削減がもたらされるとは必ずしも言い切れないものの、塗装室の局所排気装置からの屋外排気量の削減、塗装室内作業環境の向上と言った効果があると考えている。

■ 自己評価

・25年度実績において、関西地域からのVOC排出量が24年度よりわずかに増加(約64t)しているが、生産量の増加に伴うものであり、鉄鋼業全体としての排出水準は、平成22年度の水準(当連盟の自主的取組における指標となる年度)を下回っている。

○ その他

- ・対象物質全体での排出削減を目指しているため、別紙には物質別の排出量は記載していない。
- ・法規制対象施設からの排出量については、平成25年度実績より集計を開始した。

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名 **電機・電子4団体**
- 補足範囲
 ■ 業 種 (代表的な業種) 29 電気機械器具製造業
 電気機械器具製造業、一般機械器具製造業(うち事務用・サービス用・民生用機械器具製造業)
- 加盟率 不明
- 補足率 94%(業界団体内捕捉率、事業所数ベース)
- 主な排出源
 ■ 塗装
- 洗浄
- 除外・すそ切りの考え方
 ■ 対象企業 事業所・物質当たり年間1トン以上を取り扱っている企業を対象
- 対象物質 排出量合計の95%を占める20物質を対象(イソプロピルアルコール、トルエン、アセトン、酢酸ブチル、メタノール、キシレン、メチルエチルケトン、ジクロロメタン、スチレン、エタノール、その他)

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】
■ 全国										
使用量 ^{※1}	101,933	118,250	125,489	133,377	114,429	111,437	116,562	110,498	100,456	94,692
排出量	24,984	18,018	16,843	16,692	13,635	11,345	11,024	10,373	8,610	7,977
(増減率 ^{※2})	-	(▲28%)	(▲33%)	(▲33%)	(▲45%)	(▲55%)	(▲56%)	(▲58%)	(▲66%)	(▲68%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	-	173	177	165	156	155	140	129	120	115
(参考)地域別排出量										
■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(対全国比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域 ^{※3}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域 ^{※5}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法
 PRTR法の計算方法に準拠した。

■ 排出量の推計方法
 PRTR法の計算方法に準拠した。

■ 参加企業数の増減理由
 不明

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(その他の対策)

平成25年度までの化学物質排出抑制対策を継続し、VOCの使用実態に即した技術的かつ経済的に適切な排出抑制を実施した。

具体的には回収処理設備の新たな設置とその運用、代替物質等への切り替え、施設・設備・プロセスの改善による使用量の削減、管理強化他。

■ 自己評価

- ・ 業界の自主的取り組みにより、着実な削減対策が継続的に推進されている。
- ・ 取扱量が減少し、排出削減も取扱い量の減少以上に削減され、排出量の削減率は、平成22年度実績比(56%)から12ポイント(68%)改善された。
- ・ 平成25年度さらに費用投入のもと、回収処理設備の設置を図った。既存設備と同様に高額なコストを投じて運用した結果、大きな効果を得られた。

○ その他

- ・ 昨年9月に提出した取組の目指すべき方向性である「電機・電子4団体として平成27年度に少なくとも平成22年度比で悪化しないよう努める。」を基本に、VOCの排出抑制に繋がる生産プロセスの見直しや作業の合理化を粛々と進めていく。
- ・ 平成24年度調査結果の数値の一部に誤りがあり、今回見直しを行った。
具体的には使用量100,456t 排出量8,610t 増減率▲66%が正しい数値であり修正を施した。

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名 **日本塗料工業会**
- 補足範囲
 ■ 業種 (代表的な業種) 16 化学工業
 塗料製造業
- 加盟率 約92% (生産量ベース、実態調査)
- 補足率 約91% (生産量ベース、自主的集計)
- 主な排出源
 ■ 塗料製造 ・仕込み工程、混合工程、反応工程、ろ過工程、缶詰工程、洗浄工程 等
- 除外・すそ切りの考え方
 ■ 対象企業 会員企業中、塗料・シンナー製造企業を対象
- 対象物質 トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ブチルアルコール、イソプロピルアルコール、酢酸エチル、メチルエチルケトン、メチルイソブチルケトン、その他

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】
■ 全国										
使用量 ^{※1}	922,720	801,200	765,597	762,080	744,168	733,573	690,486	701,574	720,680	691,172
排出量	3,947	3,061	2,907	2,939	2,812	2,408	2,318	2,255	2,161	2,095
(増減率 ^{※2})	-	(▲22%)	(▲26%)	(▲26%)	(▲29%)	(▲39%)	(▲41%)	(▲43%)	(▲45%)	(▲47%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	-	77	78	73	74	76	76	76	76	74
(参考) 地域別排出量										
■ 対策地域計	1,519	1,866	1,773	1,793	1,716	1,469	1,415	1,376	1,319	1,277
(対全国比)	(38%)	(61%)	(61%)	(61%)	(61%)	(61%)	(61%)	(61%)	(61%)	(61%)
関東地域 ^{※3}	38	719	683	691	661	566	545	530	508	492
関西地域 ^{※4}	928	719	683	691	661	566	545	530	508	492
中部地域 ^{※5}	553	428	407	411	394	337	325	316	303	293

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

PRTR対象(トルエン、キシレン、エチルベンゼン)と塗料用溶剤5品目(ブタノール、イソプロピルアルコール、酢酸エチル、メチルエチルケトン、メチルイソブチルケトン)の8品目で塗料配合溶剤の51.9%(H24年度)を占めるため8品目の使用量から算出。

■ 排出量の推計方法

PRTR対象(トルエン、キシレン、エチルベンゼン)と塗料用溶剤5品目(ブタノール、イソプロピルアルコール、酢酸エチル、メチルエチルケトン、メチルイソブチルケトン)の8品目で塗料配合溶剤の51.9%(H24年度)を占めるため8品目の大気放出量から算出。

■ 参加企業数の増減理由

ほぼ昨年と同水準

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(その他の対策)

- ・設備密閉度の向上
- ・洗浄溶剤の減量や再生利用及び洗浄時間の短縮
- ・代替物質への転換
- ・環境対応製品への置き換え
- ・吸着設備の設置

■ 自己評価

- (1) 塗料製造事業所・工場からのVOCの排出状況は、平成24年度の2,161トンから平成25年度は2,095トンとなり、減少している。排出量の減少割合は、平成12年度に対して47%減である。
- (2) 溶剤使用量は平成24年度比4.1%減であり、大気排出量も3.1%減となっている。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名 **日本自動車部品工業会**
- 補足範囲
 ■ 業 種 (代表的な業種) 31 輸送用機械器具製造業
- 加盟率 約64% (出荷額から推計)
- 補足率 同上 (同上)
- 主な排出源
 ■ 塗装
 ■ 接着
 ■ 洗浄
- 除外・すそ切りの考え方
 ■ 対象企業 会員企業中、アンケート回答のあった企業を対象
- 対象物質 全VOCを対象

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】
■ 全国										
使用量※1	36,857	30,056	30,514	29,140	23,186	22,558	18,248	17,941	17,890	17,722
排出量	22,725	18,121	17,274	16,061	12,222	11,702	9,493	8,533	8,387	7,942
(増減率※2)	-	(▲20%)	(▲24%)	(▲29%)	(▲46%)	(▲49%)	(▲58%)	(▲62%)	(▲63%)	(▲65%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(増減率※2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	145	139	128	124	121	119	105	112	112	113
(参考) 地域別排出量										
■ 対策地域計	9,642	8,317	7,876	7,341	5,436	4,666	3,812	3,493	4,027	4,613
(対全国比)	(42%)	(46%)	(46%)	(46%)	(44%)	(40%)	(40%)	(41%)	(48%)	(58%)
関東地域※3	2,120	2,017	1,912	1,722	1,399	1,273	1,253	955	880	631
関西地域※4	121	92	60	68	9	6	28	25	35	27
中部地域※5	7,401	6,208	5,904	5,551	4,028	3,387	2,531	2,513	3,112	3,955

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

PRTR届出制度の公開データの輸送用機械器具製造業で報告のあった全会員会社を対象に自主行動計画のフォローアップ調査を実施し、全対象会社の回答数量を集計している。

■ 排出量の推計方法

PRTR届出制度の公開データの輸送用機械器具製造業で報告のあった全会員会社を対象に自主行動計画のフォローアップ調査を実施し、全対象会社の回答数量を集計している。

■ 参加企業数の増減理由

不明

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(その他の対策)

- ・排ガス処理・回収装置の設置
- ・代替物質に変更
- ・設備・工程管理の適正化等
- ・洗浄方法の変更

■ 自己評価

平成23年度実績におけるVOC排出量は前年度比5.3%減が達成された。塗装工程、洗浄工程におけるVOC排出削減対策は継続的に実施しており、VOC排出量の減少に貢献したと考えられる。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名 **日本自動車工業会**
- 補足範囲
 ■ 業 種 (代表的な業種) 31 輸送用機械器具製造業
- 加盟率 100% (輸送用機械器具製造業のうち自動車製造事業者の加盟率100%)
- 補足率 100% (同上)
- 主な排出源
 ■ 塗装 ・塗装ブース
- 除外・すそ切りの考え方
 ■ 対象企業 会員企業14社+会員企業のブランド製品を製造している事業所
- 対象物質 塗料中のVOC(塗料全体一固形分)、溶剤

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】
■ 全国										
使用量 ^{※1}	72,685	58,664	60,178	58,919	56,541	37,633	37,167	36,231	33,752	35,438
排出量	52,685	41,199	40,976	39,295	32,218	26,273	25,623	24,921	24,224	25,106
(増減率 ^{※2})	-	(▲22%)	(▲22%)	(▲25%)	(▲39%)	(▲50%)	(▲51%)	(▲53%)	(▲54%)	(▲52%)
うち法規制対象施設	47,575	37,203	37,001	35,483	29,093	23,725	23,138	22,504	21,885	22,342
(増減率 ^{※2})	-	(▲22%)	(▲22%)	(▲25%)	(▲39%)	(▲50%)	(▲51%)	(▲53%)	(▲54%)	(▲53%)
原単位(g/m ²)	79.6	56.2	53.0	49.6	47.8	44.0	39.0	37.0	35.3	34.6
(増減率 ^{※2})	-	(▲29%)	(▲33%)	(▲38%)	(▲40%)	(▲45%)	(▲51%)	(▲54%)	(▲56%)	(▲57%)
参加企業数	14	14	14	14	14	14	16	16	16	16
(参考)地域別排出量										
■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(対全国比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域 ^{※3}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域 ^{※5}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

VOC使用量(kg) = 塗料の使用量 × (1 - 塗料の固形分比率)

■ 排出量の推計方法

VOC排出量(kg) = VOC使用量 × (1 - 塗料の乾燥炉への持込率) +
 VOC使用量 × 塗料の乾燥炉への持込率 × (1 - 乾燥炉のVOC除去率)

■ 参加企業数の増減理由

平成27年度目標値を設定するにあたり、自工会非会員だが会員ブランドの製品を製造している事業所で、車工会にも属していない事業所を追加した。

そのため、基準年とした平成22年度より参加企業が14→16に増えた。それに伴い、2010年度の実績も修正した。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

排出抑制技術名		対策技術の概要	排出抑制物質名	年間削減量(トン)
①塗着効率向上			トルエン キシレン 等	
-1	静電ガン	高圧発生器更新(塗着効率向上)等		51.7
-2	メタリックペル塗装	樹脂塗装ベース前補正エアガンを静電ペル化等		1.8
-3	ロボット塗装化	中塗り自動機→ロボット塗装化等		16.0
②洗浄シンナー対策				
-1	使用量低減	洗浄配管の短縮化、洗浄シンナーバブルの低圧化等		100.5
-2	回収	設備洗浄シンナーの回収徹底、シンナー回収機更新等		133.7
③カートリッジタイプ塗料の採用				0.0
④ハイソリッド塗料の採用				0.0
⑤水系塗料の採用		車体: B/C バンパー: プライマー、B/C等		265.9
⑥その他		高効率化 塗装プログラム最適化によるロス低減 ボデー外板樹脂化による上塗面積低減等		106.5

■ 自己評価

- ・平成25年度原単位は34.6g/m²と対前年▲0.7g/m²改善。
- ・排出量は、前年度より生産台数が伸びた為、塗装面積は5.6%増加しているが、各社の取り組み効果により、排出量は3.6%増(0.9千t)に抑えられている。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名 **線材製品協会**
- 補足範囲
 ■ 業 種 (代表的な業種) 22 鉄鋼業
 伸線業
- 加盟率 92.7% (伸線業のうち線材製品製造事業者の加盟率、生産量ベース、経済産業省鉄鋼統計)
- 補足率 同上 (同上)
- 主な排出源
 ■ 洗浄 ・ステンレス鋼線の製造工程((潤滑剤の造膜、洗浄))
 ■ 塗装 ・カラー釘の塗装工程

- 除外・すそ切りの考え方
 ■ 対象企業 会員企業中、VOCを物質当たり1トン以上排出している企業を対象
- 対象物質 PRTR対象6物質、PRTR対象外4物質(キシレン、ジクロロメタン、テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン、1,3,5-トリメチルベンゼン、トルエン、酢酸エチル、メチルエチルケトン、イソプロピルアルコール、アセトン)

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】
■ 全国										
使用量 ^{※1}	1,436	1,006	799	636	463	344	358	325	307	305
排出量	1,291	894	726	510	372	254	291	241	238	231
(増減率 ^{※2})	-	(▲31%)	(▲44%)	(▲61%)	(▲71%)	(▲80%)	(▲77%)	(▲81%)	(▲82%)	(▲82%)
うち法規制対象施設	239	227	222	209	153	127	159	113	103	107
(増減率 ^{※2})	-	(▲5%)	(▲7%)	(▲12%)	(▲36%)	(▲47%)	(▲33%)	(▲53%)	(▲57%)	(▲55%)
参加企業数	16	16	16	16	16	16	16	16	8	8
(参考) 地域別排出量										
■ 対策地域計	942	784	647	454	325	217	258	214	212	210
(対全国比)	(73%)	(88%)	(89%)	(89%)	(87%)	(85%)	(89%)	(89%)	(89%)	(91%)
関東地域 ^{※3}	65	30	4	5	6	2	2	4	4	4
関西地域 ^{※4}	796	739	643	449	319	215	256	210	209	206
中部地域 ^{※5}	81	15	0	0	0	0	0	0	0	0

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

- ①年間使用量全量(全量蒸発)
- ②年間購入量

■ 排出量の推計方法

- ①年間使用量全量(全量蒸発)
- ②年間購入量 - 再生引取量
- ③年間購入量 - 廃液量

■ 参加企業数の増減理由

昨年度と同数の参加企業数であった。
 当初取り組み企業数からの変動は、VOCを含まない溶剤に切り替えるなどの対策により、対象企業が減少したことによるもの。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(原材料の転換・削減)

脱脂溶液・接着剤など、VOCを含まない溶剤へ切り替え。

(設備導入・改良等)

VOC回収装置を2006年より導入開始、2010年以降は計5台が稼働中。

投資額 計2500万円。

■ 自己評価

- ・H25年度は、基準となる22年度に対して▲61トン(▲21%)の削減。前年度から▲8トン(▲3%)削減。
- ・取組指針(H30年度において、H22年度排出量を超過しない)に向けて、引き続きVOC削減施策を継続する。
- ・自主取組対象企業数は、前年度と同数のVOC排出実績1トン以上あった8社。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名 **日本伸銅協会**
- 補足範囲
 ■ 業 種 (代表的な業種) 23 非鉄金属製造業
- 加盟率 100% (非鉄金属製造業のうち伸銅品製造事業者の加盟率100%)
- 補足率 48% (業界団体内捕捉率、生産量ベース)
- 主な排出源
 ■ 洗浄 ・伸銅品の仕上工程
- 除外・すそ切りの考え方
 ■ 対象企業 会員企業中アンケート回答のあった企業を対象
- 対象物質 排出量合計の9割以上を占める7物質を対象(キシレン、トルエン、ジクロロメタン、1,3,5トリメチルベンゼン、エチレングリコール、エチルベンゼン、ベンゼン)

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】
■ 全国										
使用量 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	204
排出量	436	184	175	159	110	89	88	83	82	86
(増減率 ^{※2})	-	(▲58%)	(▲60%)	(▲64%)	(▲75%)	(▲80%)	(▲80%)	(▲81%)	(▲81%)	(▲80%)
うち法規制対象施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	-	-	-	-	-	-	-	6	6	6
(参考)地域別排出量										
■ 対策地域計	178	12	7	10	5	4	3	4	4	4
(対全国比)	(41%)	(7%)	(4%)	(6%)	(5%)	(4%)	(3%)	(5%)	(5%)	(5%)
関東地域 ^{※3}	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
関西地域 ^{※4}	17	3	1	3	2	1	1	4	3	4
中部地域 ^{※5}	161	9	6	6	3	3	1	0	0	1

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

■ 排出量の推計方法

会員企業中回答のあった6社の排出量の合計

■ 参加企業数の増減理由

なし

- 排出抑制に貢献する対策等
 - 対策及びその効果、コスト
(その他の対策)
 - ・VOC排出設備の撤去
 - ・代替薬品への切り替え

- 自己評価

全体として5年後に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでおり、平成25年度も取組みの成果は出ている。必要に応じて、VOCの排出抑制に繋がる生産や作業方法を導入し、代替品への切り替えを推進している。

- その他

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名 **全国鍍金工業組合連合会**
- 補足範囲
 ■ 業 種 (代表的な業種) 24 金属製品製造業
- 加盟率 約94% (従業員ベース92%、事業所数ベース96%)
- 補足率 同上 (同上)
- 主な排出源
 ■ 洗浄 ・被めっき物の前処理工程と仕上工程

- 除外・すそ切りの考え方
- 対象企業 有害大気汚染物質の自主管理における企業を対象
- 対象物質 連合会で使用している2物質(トリクロロエチレン、ジクロロメタン)を対象

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】
■ 全国										
使用量 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	925
排出量	1,356	992	981	976	878	791	846	761	760	730
(増減率 ^{※2})	-	(▲27%)	(▲28%)	(▲28%)	(▲35%)	(▲42%)	(▲38%)	(▲44%)	(▲44%)	(▲46%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	56	57
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	-	-	-	-	-	-	-	207	185	175
(参考) 地域別排出量										
■ 対策地域計	959	776	757	720	581	510	530	474	475	458
(対全国比)	(71%)	(78%)	(77%)	(74%)	(66%)	(64%)	(63%)	(62%)	(63%)	(63%)
関東地域 ^{※3}	548	502	494	464	371	353	367	326	326	316
関西地域 ^{※4}	274	213	204	200	160	112	109	102	103	98
中部地域 ^{※5}	137	61	59	56	50	45	54	46	46	44

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

- 使用量の推計方法
 施設に投入したVOCの合計量を集計

- 排出量の推計方法
 使用量の合計から業者引き取り量の合計を差し引いた数量

- 参加企業数の増減理由
 それまでに使用を中止した事業所をH23年度までは参加事業所数にカウントしていたが、H24年度はそれらの事業所や廃業した事業所を削除したため。
 H25年度はH24年度以降に使用中止10社を除外してカウントした。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

（作業方法の改善等）

こまめにふたをして蒸発を減少させる。

汲み出し量を減少する。

稼働時間を制限。

洗浄対象物を削減。

局所排気の適正化。

（原材料の転換・削減）

可能なものはアルカリ脱脂へ変更

代替品へ変更

溶剤洗浄を廃止あるいは使用中止

（設備導入・改良等）

冷却設備追加（165万円）

周囲に囲い設置（50万円）

排気設備更新（40万円）

洗浄設備更新（3000万円、380万円）

（その他の対策）

H25年度もこれまでとられてきたものと同様な対策が取られている。

■ 自己評価

平成22年度の排出量は平成12年度比30%減の国の目標を達成（37.6%減）したことを受けて、

その後の取り組みの方向性としては、それまでに最小排出量となった平成21年度より悪化しないように取り組んでいくこととしている。

平成24年度はその目標を達成した。

平成25年度もその目標を達成した。

○ その他

全国鍍金工業組合連合会では、平成7年度より洗浄分野で使用するトリクロロエチレン等の有機溶剤の大気排出削減の自主取り組みを継続している。平成24年度の平成7年度比削減率は約63%であった。

平成25年度の平成7年度比削減率は約64%であった。

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名 **日本電線工業会**
- 補足範囲
 ■ 業 種 (代表的な業種) 23 非鉄金属製造業
- 加盟率 約81% (出荷額ベース)
- 補足率 約75% (同上)
- 主な排出源
 ■ 塗装 ・巻線製造工程(絶縁エナメルワニスの溶剤)
 ■ 接着 ・光ファイバ製造工程
 ■ その他 ・銅荒引線製造工程(圧延時の被膜)
- 除外・すそ切りの考え方
 ■ 対象企業 会員企業中、VOC使用実績のある企業を対象
- 対象物質 PRTR対象92物質と非PRTR対象12物質を対象。ただし、使用量が月間100kg未満の物質は集計対象外

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】
■ 全国										
使用量 ^{※1}	10,434	7,398	7,809	7,620	6,062	5,067	5,549	5,565	6,201	6,478
排出量	1,439	1,013	1,046	949	822	660	707	631	575	619
(増減率 ^{※2})	-	(▲30%)	(▲27%)	(▲34%)	(▲43%)	(▲54%)	(▲51%)	(▲56%)	(▲60%)	(▲57%)
うち法規制対象施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120
(参考)地域別排出量										
■ 対策地域計	519	325	326	310	281	245	268	238	180	207
(対全国比)	(36%)	(32%)	(31%)	(33%)	(34%)	(37%)	(38%)	(38%)	(31%)	(33%)
関東地域 ^{※3}	230	73	103	114	92	85	85	54	40	52
関西地域 ^{※4}	110	129	86	78	79	69	64	59	34	37
中部地域 ^{※5}	179	123	137	118	110	91	119	125	107	118

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

VOC年度初在庫量 + VOC購入量 - VOC年度末在庫量 = VOC使用量

■ 排出量の推計方法

VOC使用量 - 密閉式回収(活性炭等に吸着)ガス化による燃焼等 = VOC排出量

■ 参加企業数の増減理由

平成24年度は121社であったが、平成25年度は退会1社で120社となった。なお、退会した1社は、VOC使用量・排出量とも微量で全体に大きな影響はなかった。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(設備導入・改良等)

・心線表面の油分除去のため、溶剤を使用していた。溶剤槽の密閉化を図ったが、完全には大気放出を防ぐことはできないので、温水シャワー洗浄に切替えた。

・脱臭装置触媒の更新により、酢酸エチルの排出が昨年度比で82%改善された。

(その他の対策)

これまでと同様に非VOC製品への切り替えを実施している。ただし、効率の良い対策はほぼ実施済みで、更なるVOC排出量削減は、費用対効果が悪い現状である。今後は既設の回収装置について、運転条件を見直し最適化をはかることや、メンテナンスを継続的に実施する。

■ 自己評価

平成25年度は、メタル(銅・アルミ)電線の生産量は1,085千トンと前年度(24年度)比3.2%増で、光ファイバケーブルの生産量は37,463千kmcで前年度(24年度)比12.6%減となった。平成24年度と比較して25年度は、製造工程におけるトルエンとイソプロピルアルコール増加して、その他の物質は横ばい又は減少し、平成25年度の削減率は使用量で37.9%、排出量で57.0%となった。

○ その他

なし。

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名 **日本アルミニウム協会**
- 補足範囲
 ■ 業 種 (代表的な業種) 23 非鉄金属製造業
- 加盟率 約99%(非鉄金属製造業のうちアルミニウム圧延、押出加工事業者の加盟率、生産量ベース、日本アルミニウム協会統計)
- 補足率 約94%(協会会員企業の捕捉率、生産量ベース、日本アルミニウム協会統計)
- 主な排出源
 ■ 塗装 ・缶蓋用材、エアコンフィン、カラーアルミの塗装・焼付工程
 ■ 洗浄 ・圧延コイル、押出材の脱脂・洗浄工程
 ■ 印刷 ・箔への印刷工程
 ■ 接着 ・箔、各種フィルムとの接着工程
- 除外・すそ切りの考え方
 ■ 対象企業 ・圧延大手5社、箔圧延大手6社を対象
 ・建材押出大手5社は他団体の自主行動計画に参加。その他会員企業には呼びかけ中
 ■ 対象物質 非PRTR対象物質については不明なため、PRTR対象の7物質に限定(エチルベンゼン、キシレン、1-ジクロロ-1-フルオロエタン、ジクロロメタン、テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン、トルエン)

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】
■ 全国										
使用量 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排出量	1,900	569	532	679	499	550	343	322	327	289
(増減率 ^{※2})	-	(▲70%)	(▲72%)	(▲64%)	(▲74%)	(▲71%)	(▲82%)	(▲83%)	(▲83%)	(▲85%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	13	13	13	13	13	13	13	13	13	11
(参考)地域別排出量										
■ 対策地域計	160	108	100	233	71	84	10	11	12	17
(対全国比)	(8%)	(19%)	(19%)	(34%)	(14%)	(15%)	(3%)	(3%)	(4%)	(6%)
関東地域 ^{※3}	160	108	100	233	71	84	10	11	12	17
関西地域 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域 ^{※5}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法
各社の使用実績により算出。

■ 排出量の推計方法
各社の使用実績から排出量を算出。

■ 参加企業数の増減理由
・平成25年度は、参加企業の内4社が合併したため(2社ずつ計2組)、参加企業数が13社から11社に減少した。

- 排出抑制に貢献する対策等
 - 対策及びその効果、コスト
 - (その他の対策)
 - ・工程内対策
 - ・排ガス対策(エンドオブパイプ)
 - ・その他

- 自己評価

25年度は、24年度に比べ排出量は減少した。また、22年度比で悪化しないとする目標も達成できた。

- その他

- ・24年度の排出量について、参加企業からデータの訂正があり、修正。
- ・関東地域以外の対策地域については、特定の事業所の排出量が分かってしまう懸念があるため記載しない。

VOC自主的取組(状況報告)

○ 団 体 名

日本建材・住宅設備産業協会

○ 補足範囲

■ 業 種

(代表的な業種) 24 金属製品製造業

①金属製品製造業、②パルプ・紙・紙加工品製造業、③窯業・土石製品製造業

■ 加盟率

①85%(サッシ業界内)、②89%(繊維板パーティクルボード製造業界内)、③100%(窯業系サイディング、火山性ガラス、ロックウール保温材製造業界内)

■ 補足率

約59%(平成12年度開始時:業界団体内の自主行動計画への参加率)

○ 主な排出源

■ 塗装

・サッシの塗装工程、窯業外装材の塗装工程

■ 接着

・繊維板、パーティクルボードの接着工程、ロックウール保温材のフォーミング工程、ドア等のラッピング接着工程

■ 洗浄

・ウレタン注入機の洗浄

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業

会員団体中、①VOCを排出していない、②他団体の自主行動計画に参加する、③自団体で実施するとした企業・団体を除く5団体を対象

■ 対象物質

PRTR対象物質のうち排出量の割合の上位を占める物質を対象団体各々が選定した

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】
■ 全国										
使用量 ^{※1}	10,109	7,639	6,248	5,052	4,194	3,703	3,876	3,344	2,383	2,521
排出量	8,031	6,059	4,508	3,458	2,983	2,412	2,208	1,922	1,657	1,787
(増減率 ^{※2})	-	(▲25%)	(▲44%)	(▲57%)	(▲63%)	(▲70%)	(▲73%)	(▲76%)	(▲79%)	(▲78%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	-	-	-	-	-	-	-	37	37	36
(参考)地域別排出量										
■ 対策地域計	3,682	3,283	3,274	2,343	2,179	1,747	1,586	1,252	980	1,114
(対全国比)	(46%)	(54%)	(73%)	(68%)	(73%)	(72%)	(72%)	(65%)	(59%)	(62%)
関東地域 ^{※3}	1,069	695	1,997	1,308	1,296	1,151	1,181	811	547	521
関西地域 ^{※4}	194	197	126	111	281	114	125	144	165	174
中部地域 ^{※5}	2,419	2,391	1,151	924	602	482	280	297	268	419

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域:東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域:大阪府、兵庫県

※5 中部地域:愛知県、三重県

(注)物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

VOC使用量は、各業界各社の購入実績や施設ごとの使用実績より算出した。

■ 排出量の推計方法

自主行動計画報告書参照

■ 参加企業数の増減理由

事業統合により1社減

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(作業方法の改善等)

- ・塗装方法の改善
- ・接着施設の温度管理の徹底
- ・吐出器や配管の改善による歩留まり向上
- ・キャッチャー剤の導入

(原材料の転換・削減)

- ・溶剤系塗料から水系塗料への切換え
- ・洗浄剤の代替えや使用量削減
- ・ラッピング用接着剤のホットメルト等への切換え
- ・接着力向上による使用料の削減

(設備導入・改良等)

- ・VOC除去装置の導入

(その他の対策)

- ・F☆☆☆☆製品の生産比率を高める

■ 自己評価

全体として5年後に少なくとも平成22年度比で悪化しないよう取組む方向性を打ち出した。その中で平成25年度は消費税前の駆け込み需要により生産量が大幅に増え、使用料、排出量ともある程度前年より増加傾向となったが、平成22年度対比で19.1%削減することができた。継続対策として実施してきた塗料の水生化促進や木質ボードのF☆☆☆☆化等を進めた結果、排出原単位においても削減効果が出ていて、排出抑制の取組成果を上げているものと判断する。

○ その他

日本繊維板工業会

- ・木質ボード業界全体として取り組んでいる。
- ・環境宣言の中でホルムアルデヒド排出量原単位の日目標値設定と5年ごとの見直しを行っている
- ・会員各社から、ホルムアルデヒド排出量原単位の低減に向けた方策の提出を受けている
- ・ホルムアルデヒド放散量区分(F☆☆☆☆、F☆☆☆、F☆☆)ごとの生産量統計を作成している
- ・当工業会としてホルムアルデヒド/4VOC自主表示制度を運営しており、VOC排出抑制に対する会員の意識は高い

日本窯業外装材協会

- ・VOC含有率低減塗料の開発について、今後も努力していく
- ・塗料の塗着、塗布効率の向上(歩留まり向上)⇒塗料使用原単位当りの低減を図る
- ・溶剤塗料使用品種の水溶性化推進を図る

ロックウール工業会

- ・低排出フェノール樹脂使用の開発を行っている。

火山性ガラス質材料工業会

- ・現状では、告示対象建材の原料やホルムアルデヒド含有化学物質を工程中に使用していない。
これを維持できるように努めている。

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名 **天然ガス鉱業会**
- 補足範囲
 ■ 業種 (代表的な業種) 05 鉱業、採石業、砂利採取業
 原油・天然ガス鉱業
- 加盟率 90%以上 (原油・天然ガス鉱業のうち天然ガス生産事業者の加盟率、天然ガス生産量ベース)
- 補足率 ほぼ100% (国内天然ガス生産企業のうち、VOCを発生する企業のほぼ100%をカバー)
- 主な排出源
 ■ 貯蔵
 ・原油貯蔵タンク
 ・グライコール再生装置
 ・脱炭酸ガス装置
 ・積み出し作業
 ・工事等に伴う放散ガス
- 除外・すそ切りの考え方
 ■ 対象企業 会員企業等4社を対象
- 対象物質 メタンを除く全炭化水素

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】
■ 全国										
使用量 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排出量	2,603	1,665	1,643	2,736	3,528	3,281	3,095	1,278	1,105	1,028
(増減率 ^{※2})		(▲36%)	(▲37%)	(+5%)	(+36%)	(+26%)	(+19%)	(▲51%)	(▲58%)	(▲61%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	-	-	-	-	-	-	-	5	4	4
(参考) 地域別排出量										
■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(対全国比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域 ^{※3}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域 ^{※5}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

- ・原油及び天然ガスの生産量に各々標準熱量を掛けて算出

■ 排出量の推計方法

- ・自主行動計画書参照

■ 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

（作業方法の改善等）

・原油タンク・グリコール再生装置等に取り付けられているVOC回収・除去設備の運転条件の最適化に努めた。

（設備導入・改良等）

・一部グリコール再生装置のVOC除去装置の改良工事を実施している。

（その他の対策）

・放散ガス量の削減

■ 自己評価

会員企業のVOC回収・除去装置は概ね配備が完了している。昨年度と比較して主に原油生産量の減により排出量が若干減じた。今後もVOC対策設備の最適運転を継続し、引き続きVOC排出削減に努める。

○ その他

—

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名 **石油連盟**
- 補足範囲
 ■ 業 種 (代表的な業種) 17 石油製品・石炭製品製造業
 石油製品製造業、石油販売業
- 加盟率 100% (石油製品製造業、石油販売業のうち石油精製、石油販売(元売)事業者の加盟率)
- 補足率 100% (会員企業の捕捉率)
- 主な排出源
 ■ 貯蔵 ・石油タンク
 ■ 出荷設備 ・陸上出荷(タンクローリー、タンク車)
 ・海上出荷(船)
 ■ 対象石油製品等 ・原油、ナフサ、ガソリン
- 除外・すそ切りの考え方
 ■ 対象企業 17社(加盟会社11社。他に、非加盟会社及び加盟会社の関連会社6社が参加)を対象
- 対象物質 炭化水素(排出量の算出方法については、「石油産業における炭化水素ベーパー防止トータルシステム研究調査報告書」(昭和50年3月、資源エネルギー庁)の排出量計算式を使用)

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】
■ 全国										
使用量 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排出量	61,426	54,859	53,482	49,331	46,108	43,952	42,551	41,853	39,207	39,348
(増減率 ^{※2})	-	(▲11%)	(▲13%)	(▲20%)	(▲25%)	(▲28%)	(▲31%)	(▲32%)	(▲36%)	(▲36%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,925
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	24	24	24	23	22	22	19	18	17	17
(参考)地域別排出量										
■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(対全国比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域 ^{※3}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域 ^{※5}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

■ 排出量の推計方法

(別紙) 排出量の算出方法のとおり

■ 参加企業数の増減理由

-

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(その他の対策)

- ・固定屋根式タンクの内部浮き屋根化
- ・出荷設備へのペーパー回収設備の設置

<コスト>

・試算では、VOC1トン削減するための費用として、貯蔵タンクでは20～30万円、陸上出荷設備では50～80万円、海上出荷では200～300万円が見込まれる

■ 自己評価

陸上出荷設備へのペーパー回収装置の設置、タンクの改造工事などの削減対策の実施、タンクの稼働休止による削減効果などにより、着実に排出量を削減し、平成22年度には基準年度(平成12年度)比30%の排出量削減とした目標を達成、平成25年度も引き続き基準年度(平成12年度)比36%の排出量削減となっている。

○ その他

(別紙)

排出量の算出方法

「石油産業における炭化水素ベーパー防止トータルシステム研究調査報告書」
(昭和50年3月、資源エネルギー庁)の排出量計算式を使用して算出。

1. 固定屋根式タンクからの排出量

(1) 受入時(受入ロス)

○排出係数×受入量

○排出係数 (Kg/KL)

原油	0.52
ガソリン・ナフサ	1.00

(2) 貯蔵時(呼吸ロス)

○排出係数×(タンク容量)^{2/3}

○排出係数 (Kg/KL)

原油	0.3054
ガソリン・ナフサ	0.7064

2. 浮き屋根式タンクからの排出量

(1) 払出時(払出ロス)

○排出係数/タンク直径(m)×払出量

○排出係数 (Kg/KL)

原油	0.0141
ガソリン・ナフサ	0.0470

3. 出荷時の排出量

○排出係数×出荷量

○排出係数 (Kg/KL)

	船出荷	ローリー・タンク車
原油	0.12	—
ガソリン・ナフサ	0.19	0.89

以上

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名 **日本化学工業協会**
- 補足範囲
 ■ 業種 (代表的な業種) 16 化学工業
- 加盟率 不明(加盟率に関しては化学工業に該当する企業数が把握出来ないため算定不可能。)
- 補足率 73%(推計値)(PRTR報告ベース化学工業の約70%)
- 主な排出源
 ■ 化学製品製造・化学品製造工程
- 除外・すそ切りの考え方
 ■ 対象企業 ・(一社)日本化学工業協会のPRTR調査に参加している約120社のうち削減計画を策定した68社
 ・ただし、排出量に関しては114社全体の排出量を集計
- 対象物質 PRTR(328物質 農薬、殺虫剤除く)＋日化協独自(105物質)＋石油製品由来の鎖状炭化水素(炭素数が4～8までの鎖状炭化水素類(個別に調査している物質を除く)から無機化合物とダイオキシン類を除いた434物質)を集計

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】
■ 全国										
使用量 ^{※1}	82,280,000	-	-	-	-	-	-	-	64,513,303	65,224,805
排出量	88,809	50,690	49,432	46,817	37,306	34,654	32,662	29,862	30,822	31,009
(増減率 ^{※2})	-	(▲43%)	(▲44%)	(▲47%)	(▲58%)	(▲61%)	(▲63%)	(▲66%)	(▲65%)	(▲65%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	-	-	-	-	-	-	-	68	68	68
(参考)地域別排出量										
■ 対策地域計	50,529	32,334	32,559	30,487	22,556	20,543	19,518	17,572	19,771	19,491
(対全国比)	(57%)	(64%)	(66%)	(65%)	(60%)	(59%)	(60%)	(59%)	(64%)	(63%)
関東地域 ^{※3}	32,463	17,620	18,737	18,267	13,871	12,433	9,928	8,362	9,928	9,630
関西地域 ^{※4}	10,858	7,953	7,946	6,932	5,104	4,493	5,214	4,835	5,640	5,593
中部地域 ^{※5}	7,208	6,761	5,876	5,288	3,581	3,617	4,376	4,375	4,203	4,268

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

- 対象物質: 日化協433物質＋C4～C8の炭化水素類から無機化合物とDXNを除いた434物質を集計
- 使用: 製造量と使用量の合計(ただし、燃料として使用したもの一部含む)
- 基準年度: 炭化水素類についてはH12年データが未把握のためH16年度の値を加算した。
(使用量はH12年度にH16年度炭化水素を加算して8,228万トンとした。)

■ 排出量の推計方法

- 対象物質: 日化協417物質＋C4～C8の炭化水素類から無機化合物とDXNを除いたVOC対象物質を集計
- 排出量は大気排出量データの合計
- 基準年度: 炭化水素類についてはH12年データが未把握のためH16年度の値を加算した。
(排出量はH12年度8万トンにH16年度炭化水素1万トンを加算して9万トンとした。)

■ 参加企業数の増減理由

当協会の会員登録、脱退、あるいは企業の合併等により企業数が多少変化します。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(その他の対策)

・対策及びその効果、コストについては調査を行っていない。これらは個別企業のノウハウに関わる情報でもあり、現状では調査の実施の予定はない。ただし、増減の理由については簡易な調査を実施している。

■ 自己評価

“VOCの増減理由について調査した結果、削減対策については引き続き継続実施されているが、取扱量が約1%増加したことにより排出量が約0.6%増加している。取扱い量あたりの排出量は0.478(kg/t)から0.475(kg/t)に改善しており、削減対策は継続実施されている。

取扱量6451万トン(2012年)→6522万トン(2013年)の結果、約1%増加

排出量30,822トン(2012年)→31,009トン(2013年)の結果約0.6%増加

○ その他

関東地域、関西地域、中部地域は以下の通りとして範囲を拡大してデータ集計

関東地区(茨城県、栃木県、群馬県、東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県)

関西地区(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県)、中部地区(岐阜県、愛知県、三重県)

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名 **日本印刷産業連合会**
- 補足範囲
 ■ 業種 (代表的な業種) 15 印刷・同関連業
 印刷産業
- 加盟率 約90% (出荷額ベース)
- 補足率 約90% (同上)
- 主な排出源
 ■ 印刷 ・印刷工程及び乾燥工程
 ■ 接着 ・ラミネート加工工程
- 除外・すそ切りの考え方
 ■ 対象企業 日印産連傘下の会員企業のうちグラビア印刷(ラミネート、コーター含む)、オフセット印刷を業とする事業所を対象
- 対象物質 トルエン、酢酸エチル、MEK、IPA、高沸点石油系溶剤を含めた全てのVOC物質を対象

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】
■ 全国										
使用量 ^{※1}	204,400	19,500	199,300	201,900	181,500	178,700	178,400	175,400	182,700	184,200
排出量	115,500	76,600	70,900	64,500	52,500	50,300	42,700	35,500	34,600	35,400
(増減率 ^{※2})	-	(▲34%)	(▲39%)	(▲44%)	(▲55%)	(▲56%)	(▲63%)	(▲69%)	(▲70%)	(▲69%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	-	-	-	-	-	-	6,189	5,937	5,688	5,441
(参考) 地域別排出量										
■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(対全国比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域 ^{※3}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域 ^{※5}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

アンケート調査結果から従業員規模別に拡大推計

■ 排出量の推計方法

アンケート調査結果から従業員規模別に拡大推計

■ 参加企業数の増減理由

企業の統廃合等による。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(原材料の転換・削減)

- ・インキ・溶剤保管容器の充実(基発防止)
- ・湿し水のIPA削減・代替化
- ・低VOC洗浄剤の使用
- ・水性インキ等の低VOCインキの使用

(設備導入・改良等)

- ・排ガス処理装置の設置
- ・浅版化によるインキ使用量削減

■ 自己評価

目標を大きく達成している。

○ その他

特に有りません。

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名 **ドラム缶工業会**
- 補足範囲
 ■ 業 種 (代表的な業種) 24 金属製品製造業
- 加盟率 100%
- 補足率 100%
- 主な排出源
 ■ 塗装 ・ドラム缶及び中小型缶の内面及び外面の塗装工程及び乾燥工程
- 除外・すそ切りの考え方
 ■ 対象企業 中小型缶メーカー2社を含む200Lドラム缶メーカー11社を対象
- 対象物質 「加熱残分」以外(水性塗料の場合は水の含有率を差し引き)を全てVOCとして積算した

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】
■ 全国										
使用量 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排出量	1,763	1,818	1,874	1,965	1,617	1,575	1,592	1,570	1,598	1,545
(増減率 ^{※2})	-	(+3%)	(+6%)	(+11%)	(▲8%)	(▲11%)	(▲10%)	(▲11%)	(▲9%)	(▲12%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
生産量補正	-	-	1,634.0	1,633.0	1,643.0	-	-	-	-	-
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
(参考)地域別排出量										
■ 対策地域計	1,430	1,481	1,533	1,621	1,314	1,299	1,289	1,286	1,300	1,246
(対全国比)	(81%)	(81%)	(82%)	(82%)	(81%)	(82%)	(81%)	(82%)	(81%)	(81%)
関東地域 ^{※3}	843	923	976	985	856	851	833	810	826	792
関西地域 ^{※4}	587	558	557	636	458	448	456	476	474	454
中部地域 ^{※5}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

■ 排出量の推計方法

平成12年度を基準年度として、平成25年度の生産量も基準年度と同じと仮定してVOCの排出量を求めた。VOCの対象となる物質は無限にあり、塗料・溶剤類に含まれるVOC対象物質をすべて調べ上げることは、高度な専門知識が必要であり、かつ莫大な労力を要する。

VOCの定義が大気中に揮発する有機化合物であることを考えると、個々の物質を特定して調べ上げることはあまり意味が無く、むしろJIS K 5601-1-2(塗料成分試験方法—第1部: 通則、第2節: 加熱成分)で規定されている方法で測定した「加熱残分」以外をすべてVOC成分と考え、これからVOC排出量を計算した方が、簡便でかつより正確と考えた。

■ 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(その他の対策)

- ・塗料、溶剤原単位の削減
- ・外装塗装設備改善
- ・塗装装置更新
- ・製品品種・色の集約
- ・塗料の改良
- ・洗浄用溶剤の削減

■ 自己評価

平成12年度レベルから着実な削減を実施している。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名 **軽金属製品協会**
- 補足範囲
 ■ 業 種 (代表的な業種) 24 金属製品製造業
- 加盟率 50% (企業数ベース)
- 補足率 約40% (VOC使用量ベース)、約90%(他団体で報告している大手4社分を除いた場合の捕捉率)
- 主な排出源
 ■ 塗装 ・アルミ建材の塗装工程
- 除外・すそ切りの考え方
 ■ 対象企業 ・会員5社、会員外5社のうち、アルミニウム建材塗装の受注加工事業者(会員1社、会員外3社)を対象
 ・加盟アルミ建材メーカー4社は、日本建材・住宅設備産業協会の自主行動計画に参加
- 対象物質 PRTR対象物質のキシレン、トルエン、エチルベンゼンを対象とした(12年度VOC排出量の約8割程度(推定)をカバー)

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】
■ 全国										
使用量※1	394	380	344	218	264	173	142	174	196	201
排出量	349	312	249	135	206	124	97	137	148	174
(増減率※2)	-	(▲11%)	(▲29%)	(▲61%)	(▲41%)	(▲64%)	(▲72%)	(▲61%)	(▲58%)	(▲50%)
うち法規制対象施設	349	312	249	135	206	124	97	137	148	174
(増減率※2)	-	(▲11%)	(▲29%)	(▲61%)	(▲41%)	(▲64%)	(▲72%)	(▲61%)	(▲58%)	(▲50%)
参加企業数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
(参考)地域別排出量										
■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(対全国比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域※3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域※4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域※5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

各社の購入実績、施設ごとの使用実績により算出した。

■ 排出量の推計方法

大気排出量 = [使用量] - [水域への排出量] - [廃棄物に含まれる移動量] - [製品としての搬出量]

※水域への排出と製品への含有は微量なので、ほとんどの場合無視できる。

廃棄物への含有率は、分析、自社測定あるいは資材メーカーからの情報で係数を決めている。

■ 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(その他の対策)

- ・塗装条件の見直しによる塗着効率の向上
- ・VOCを使用しない粉体塗装の受注拡大(エンドユーザーへのPR)

■ 自己評価

当該業種は建設業界の景況に左右され、最近の3年で都心の再開発等ビル物件の受注は増加傾向に有り、それに伴って使用量、排出量とも増加傾向にある。H22が底の状態であったことから、H22年度比で増加している結果となった。協会として関連業界とも連携してゼネコン、施主などユーザーと一緒にVOCを含まない「粉体塗装」の普及のための取り組みを行っており、徐々にではあるが「粉体塗装」を採用した実績が増えてきている。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名 **日本プラスチック工業連盟**
- 補足範囲
 ■ 業 種 (代表的な業種) 18 プラスチック製品製造業(別掲を除く)
 プラスチック製品製造業
- 加盟率 不明
- 補足率 約6.4%(主要物質のPRTR業種別データとの比較ベース)
- 主な排出源
 ■ 成形・加工 ・プラスチック成形・加工工程(加工工程にはラミネート、印刷、コーティング、粘着剤塗布等を含む)
- 除外・すそ切りの考え方
 ■ 対象企業 工業連盟会員中、プラスチック加工業界団体4団体を対象、
 平成25年度は前年度と比較して参加企業が32社から29社に減少
- 対象物質 年間使用量1トン以上の全VOCを対象

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】
■ 全国										
使用量 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排出量	12,211	20,193	16,113	15,893	12,338	11,354	6,623	6,294	4,760	4,594
(増減率 ^{※2})	-	(+65%)	(+32%)	(+30%)	(+1%)	(▲7%)	(▲46%)	(▲48%)	(▲61%)	(▲62%)
うち法規制対象施設	9,267	-	-	-	-	-	-	-	-	2,373
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(▲74%)
参加企業数	-	-	-	-	-	-	-	35	32	29
(参考)地域別排出量										
■ 対策地域計	3,138	7,279	5,540	4,747	4,693	4,366	2,292	1,957	988	1,240
(対全国比)	(26%)	(36%)	(34%)	(30%)	(38%)	(38%)	(35%)	(31%)	(21%)	(27%)
関東地域 ^{※3}	2,192	4,181	3,454	2,916	3,173	2,931	1,300	1,039	350	594
関西地域 ^{※4}	189	1,062	550	487	435	518	134	301	118	117
中部地域 ^{※5}	757	2,036	1,536	1,343	1,085	917	858	617	520	529

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

購入量及び在庫量等から算出

■ 排出量の推計方法

使用量及び製造ロス量、排出濃度値等から算出

■ 参加企業数の増減理由

排出量無しの企業が不参加となった。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(その他の対策)

- ・系を密閉化する
- ・該当物質用量を削減する
- ・反応率、回収率の向上を図る
- ・除去設備(既設および新設)を利用する

■ 自己評価

平成25年度のVOC排出削減率は平成12年度比で62%であり、平成22年度目標であった4割削減を維持継続している。種々の対策実施結果がVOC削減に寄与したと考える。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名 **日本オフィス家具協会**
- 補足範囲
 ■ 業 種 (代表的な業種) 13 家具・装備品製造業
 金属製家具製造業
- 加盟率 50.6% (製造品出荷額ベース)
- 補足率 31.7% (同上)
- 主な排出源
 ■ 塗装 ・パネル・箱物塗装など
 ■ 接着 パネル・デスクなどの心材接着工程など
- 除外・すそ切りの考え方
 ■ 対象企業 会員であって、製造業を営む企業を対象(61社)。参加は23社
- 対象物質 PRTR対象41物質及びPRTR対象外16物質を対象。ただし、年間排出量が1トン未満の物質は集計対象外。

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】
■ 全国										
使用量 ^{※1}	2,459	1,706	1,615	1,483	1,202	916	1,220	968	933	1,169
排出量	1,977	1,235	1,205	1,100	918	700	680	663	689	727
(増減率 ^{※2})	-	(▲38%)	(▲39%)	(▲44%)	(▲54%)	(▲65%)	(▲66%)	(▲66%)	(▲65%)	(▲63%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全社推計	3,153.0	2,428.0	2,301.0	2,270.0	2,207.0	2,112.0	2,049.0	2,180.0	2,108.0	1,992.0
(増減率 ^{※2})	-	(▲23%)	(▲27%)	(▲28%)	(▲30%)	(▲33%)	(▲35%)	(▲31%)	(▲33%)	(▲37%)
参加企業数	-	-	-	-	-	-	-	23	23	23
(参考)地域別排出量										
■ 対策地域計	875	516	502	448	369	290	260	268	185	215
(対全国比)	(44%)	(42%)	(42%)	(41%)	(40%)	(41%)	(38%)	(40%)	(27%)	(30%)
関東地域 ^{※3}	346	247	263	224	205	145	140	116	51	47
関西地域 ^{※4}	98	54	59	63	49	38	21	51	26	21
中部地域 ^{※5}	431	215	180	161	115	107	99	101	108	147

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

購入量 - 在庫量 = 使用量(含有量はSDSによる)

■ 排出量の推計方法

使用量に排出係数を乗じて算出した。

(使用量を排出先・移動先への分配係数を決め使用量に乗することにより排出量を算出)

■ 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(原材料の転換・削減)

溶剤塗装から粉末塗装への切り替え

(設備導入・改良等)

塗装設備の改善、塗装機器の更新など

(その他の対策)

・塗装効率の向上

・VOC抑制タイプの塗料、接着剤への切り替え

■ 自己評価

継続して粉末塗装に移行する企業が増加。溶剤塗料や接着剤についてもトルエンやキシレンの含有が少ないものに切り替える方向。今後もこの流れは維持する方向。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名 **日本表面処理機材工業会**
- 補足範囲
 ■ 業 種 (代表的な業種) 16 化学工業
- 加盟率 95% (企業数ベース)
- 補足率 95% (同上)
- 主な排出源
 ■ 化学製品製造・表面処理薬剤製造工程
- 除外・すそ切りの考え方
 ■ 対象企業 会員企業中、1トン以上VOCを使用している企業を対象
- 対象物質 ホルムアルデヒド、メチルアルコール、イソプロピルアルコール

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】
■ 全国										
使用量 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排出量	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
(増減率 ^{※2})	-	(+44%)	(+34%)	(+55%)	(▲44%)	(▲45%)	(▲43%)	(▲68%)	(▲54%)	(▲54%)
うち法規制対象施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	-	-	-	-	-	-	-	26	26	26
(参考) 地域別排出量										
■ 対策地域計	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
(対全国比)	(100%)	(100%)	(100%)	(99%)	(100%)	(100%)	(100%)	(96%)	(100%)	(100%)
関東地域 ^{※3}	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
関西地域 ^{※4}	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中部地域 ^{※5}	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

■ 排出量の推計方法

機材会員の内、VOC該当企業へのアンケート集計により算出

■ 参加企業数の増減理由

増減はありませんでした。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

（作業方法の改善等）

製造工程の見直し

（原材料の転換・削減）

代用物質の検討

（設備導入・改良等）

施設・設備等の向上

（取引先企業、消費者等への周知）

製造工程でのVOC取組の為、社内にて改善提案等に対応。取引先企業、消費者への周知は実施していない。

■ 自己評価

製造工程において、局地排気の導入や環境測定の実施等の対策を実施。現状の排出については、最小限に抑制実施しているが、含有製品の生産増減に伴いトータルの排出量は増減する傾向にある。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名 **日本自動車車体工業会**
- 補足範囲
 ■ 業 種 (代表的な業種) 31 輸送用機械器具製造業
- 加盟率 約95% (売上高推定値)
- 補足率 93%以上
- 主な排出源
 ■ 塗装
- 除外・すそ切りの考え方
 ■ 対象企業 会員企業中、VOCを使用している企業を対象
- 対象物質 全VOCを対象

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】
■ 全国										
使用量 ^{※1}	29,500	28,920	28,150	27,983	23,554	18,611	18,138	17,714	18,322	18,055
排出量	20,300	19,060	18,060	18,003	14,026	11,666	11,148	11,129	11,740	11,442
(増減率 ^{※2})	-	(▲6%)	(▲11%)	(▲11%)	(▲31%)	(▲43%)	(▲45%)	(▲45%)	(▲42%)	(▲44%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
原単位(g/m ²)	103.2	72.8	62.9	59.2	57.2	51.4	50.0	44.7	43.2	43.5
(増減率 ^{※2})	-	(▲29%)	(▲39%)	(▲43%)	(▲45%)	(▲50%)	(▲52%)	(▲57%)	(▲58%)	(▲58%)
参加企業数	-	169	166	164	160	164	167	170	183	184
(参考)地域別排出量										
■ 対策地域計	11,570	11,126	10,241	9,937	8,650	7,070	6,592	6,146	6,045	5,662
(対全国比)	(57%)	(58%)	(57%)	(55%)	(62%)	(61%)	(59%)	(55%)	(51%)	(49%)
関東地域 ^{※3}	2,728	3,311	2,856	2,787	2,422	1,803	1,450	909	783	804
関西地域 ^{※4}	946	74	61	75	64	94	99	105	102	128
中部地域 ^{※5}	7,896	7,741	7,324	7,075	6,164	5,173	5,043	5,132	5,160	4,730

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

大手および各製品分野を代表する16社(売上高カバー率: 93.4%)のデータを基に推定し算出

■ 排出量の推計方法

■ 参加企業数の増減理由

会員183社→184社(会員増)

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(その他の対策)

- ・塗着効率向上(ロボット塗装化)
- ・洗浄シンナー対策
(・使用量低減及び回収率向上・色替洗浄シンナー低減など)
- ・水系塗料の採用
(・メタリック系の水性化・生産工順変更に伴う水性化へのシフト)

■ 自己評価

- ・溶剤系塗装ラインから、水系塗装ラインへ生産シフトし水系塗装工法の拡大展開を実施。
又、日常活動として地道な改善活動の積み上げなどで削減を進めている。
その結果として、原単位目標を達成している。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名 **日本接着剤工業会**
- 補足範囲
 ■ 業 種 (代表的な業種) 16 化学工業
 接着剤製造業
- 加盟率 約70% (製造企業数ベース)
- 補足率 67% (同上)
- 主な排出源
 ■ 接着剤製造
 ・混合行程
 ・攪拌貯蔵行程
 ・ろ過行程
 ・充填行程
 ・洗浄工程 等
- 除外・すそ切りの考え方
 ■ 対象企業 会員企業中、接着剤製造企業を対象
- 対象物質 工業会において、主に使用している9物質を対象

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】
■ 全国										
使用量 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排出量	598	470	487	422	362	337	318	323	331	355
(増減率 ^{※2})	-	(▲21%)	(▲19%)	(▲29%)	(▲39%)	(▲44%)	(▲47%)	(▲46%)	(▲45%)	(▲41%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	-	85	84	85	85	85	85	85	85	85
(参考) 地域別排出量										
■ 対策地域計	240	168	212	158	112	115	109	144	149	149
(対全国比)	(40%)	(36%)	(44%)	(37%)	(31%)	(34%)	(34%)	(45%)	(45%)	(42%)
関東地域 ^{※3}	93	61	66	64	47	37	42	48	52	44
関西地域 ^{※4}	71	35	34	35	43	35	26	50	50	55
中部地域 ^{※5}	76	72	112	59	22	43	41	46	47	50

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法
 会員アンケートによる。

■ 排出量の推計方法
 使用量 × 0.0105 (会員に対する排出率調査結果による)

■ 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(取引先企業、消費者等への周知)

4VOC基準適合登録製品の使用を推奨。

(その他の対策)

- ・水性形、無溶剤形、高固形分型接着剤への置き換え
- ・設備密閉度の向上 ・4VOC自主管理制度を推進

■ 自己評価

平成25年度の排出量は、平成22年度比で増加となったが、この要因は接着剤全生産量及び市場ニーズによる溶剤形接着剤の増加に伴うものである。溶剤形接着剤の低溶剤形への移行、水性形への置き換え及び4VOC基準適合製品自主管理制度を引き続き推進して、5年後には平成22年度比で悪化しないよう対応していく。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名 **プレハブ建築協会**
- 補足範囲
 ■ 業種 (代表的な業種) 24 金属製品製造業
 その他の製造業
- 加盟率 50% 業界全体20社中 計画参加10社
- 補足率 ー (業界全体市場規模【集計中(8月末に完了予定)】戸中154,919戸供給)
- 主な排出源
 ■ 塗装 ・外壁塗装、鉄骨塗装、鉄骨等塗装・電着、 など
 ■ 接着 ・構造用パネル製造など
- 除外・すそ切りの考え方
 ■ 対象企業 「一般社団法人プレハブ建築協会環境行動計画エコアクション2020」に参加する10社
- 対象物質 環境省が示す主なVOC物質100種のうち、PRTR法第一種指定化学物質に指定された46物質

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】
■ 全国										
使用量 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排出量	1,675	993	899	629	542	531	604	556	512	329
(増減率 ^{※2})	-	(▲41%)	(▲46%)	(▲62%)	(▲68%)	(▲68%)	(▲64%)	(▲67%)	(▲69%)	(▲80%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	-	-	-	-	-	-	-	10	10	10
(参考) 地域別排出量										
■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(対全国比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域 ^{※3}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域 ^{※5}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

■ 排出量の推計方法

PRTR法施行規則に規定する排出量の算出方法等を用い、対象VOC物質を排出する全ての施設及び工程を対象とする

※工場内の作業車用の燃料等におけるVOC物質は排出量が少ないため、対象としない。

※個別の住宅建設・施工現場は対象としない。

■ 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(その他の対策)

- ・トルエンを含む外壁用接着剤の仕様変更により、トルエンは前年比72.1%の大幅削減となった。

■ 自己評価

- ・トルエン排出量の減少により、2000年比70%削減という目標に対して、80.3%削減と目標達成に至った。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

○ 団体名

印刷インキ工業連合会

○ 補足範囲

■ 業種

(代表的な業種) 16 化学工業
印刷インキ製造業

■ 加盟率

約90%超(生産量ベース(化学工業統計及び内部調査等より算出))

■ 補足率

同上(同上)

○ 主な排出源

■ インキ製造

・原材料の保管時
・印刷インキの仕掛品・製品の製造時

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業

会員企業を対象

■ 対象物質

使用量の多い16物質が対象(16物質で総排出量の98.2%をカバー)

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】
■ 全国										
使用量 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排出量	423	313	334	269	299	281	283	205	239	243
(増減率 ^{※2})	-	(▲26%)	(▲21%)	(▲36%)	(▲29%)	(▲34%)	(▲33%)	(▲52%)	(▲43%)	(▲43%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	-	-	-	46	36	34	37	37	40	40
(参考)地域別排出量										
■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(対全国比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域 ^{※3}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域 ^{※5}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

印刷インキ工業連合会で実施している「化学物質の取扱量調査」により、使用量の多い16物質の合計。
16物質で、全使用量の98.1%を占める。

■ 排出量の推計方法

印刷インキ工業連合会で設定したPRTR排出配分率算出方法もしくは、各社で独自に設定した排出配分率による。
使用量の多い16物質について集計。

■ 参加企業数の増減理由

- 排出抑制に貢献する対策等
 - 対策及びその効果、コスト
 - (その他の対策)
 - ・燃焼式処理
 - ・施設・設備の密閉化
 - ・吸着式処理

- 自己評価

- その他

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名 **日本工業塗装協同組合連合会**
- 補足範囲
 ■ 業 種 (代表的な業種) 24 金属製品製造業
 金属製品塗装業
- 加盟率 12.4%
- 補足率 47%
- 主な排出源
 ■ 塗装 ・塗料からの溶剤の揮発
 ■ 乾燥 ・被塗物上の塗料からの溶剤の揮発
 ■ 洗浄 ・器具・被塗物の洗浄溶剤の揮発
- 除外・すそ切りの考え方
 ■ 対象企業 会員企業を対象
- 対象物質 会員企業へのアンケート調査の結果、排出量合計の9割以上を占める上位5物質

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】
■ 全国										
使用量※1	2,646	-	3,097	3,269	2,999	2,761	2,091	1,875	1,792	1,883
排出量	1,958	-	1,992	2,203	2,005	1,976	1,358	1,302	1,253	1,309
(増減率※2)	-	-	(+2%)	(+13%)	(+2%)	(+1%)	(▲31%)	(▲34%)	(▲36%)	(▲33%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(増減率※2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	104	-	104	104	104	104	104	94	98	90
(参考) 地域別排出量										
■ 対策地域計	1,874	-	1,923	2,133	1,945	1,907	1,298	1,238	1,178	1,251
(対全国比)	(96%)	-	(97%)	(97%)	(97%)	(97%)	(96%)	(95%)	(94%)	(96%)
関東地域※3	869	-	807	775	694	535	514	486	460	610
関西地域※4	149	-	96	95	90	85	42	13	17	160
中部地域※5	856	-	1,020	1,263	1,161	1,287	742	739	701	481

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

使用量 = 購入塗料中の含有VOC量 + 購入シンナー量

■ 排出量の推計方法

排出量 = 使用量 - (廃棄塗料中のVOC量 + 廃棄シンナー量)

■ 参加企業数の増減理由

廃業等により、団体加盟企業が減り、参加する企業にも変化が見られたため、今年度の参加企業は90社となり、昨年度より8社下回った。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(作業方法の改善等)

- ・スプレー作業の改善による塗着効率の向上
- ・研修による塗装技能の向上
- ・室内の環境改善による製品の歩留まり向上
- ・保管・貯蔵における揮発防止

(原材料の転換・削減)

ハイソリッド塗料、粉体塗料、水系塗料への転換

(設備導入・改良等)

静電ガンなどのスプレーガンタイプの選択による塗着効率の向上

(取引先企業、消費者等への周知)

業界団体との連携の講習会による啓蒙

■ 自己評価

昨年度に比べては、全国のVOC使用量は91トン増加し、平成12年度に対する削減率は28.8%でありました。なお、VOC排出量は56トン増加したものの、平成12年度に対する削減率は33.2%と、大気へのVOC排出3割を維持できました。これは、取引先からのVOC含有の材料指定がほとんどであるにもかかわらず、VOC排出抑制に対する企業努力が浸透している実績と思われます。

本会では、これまで工程内対策(インプラント対策)について取り組みを進めてきました。低VOC塗料とスプレー作業の塗着効率の向上を目的とした装置の導入や研修による技能の向上によりVOC使用量の削減を図るとともに、工場内の脱脂用シンナーや塗料容器からの蒸発量削減といった地道な取り組みについて普及活動を行い、組合企業の導入率を上げることで、VOC排出量削減に努めました。

○ その他

(1) 業界団体への加盟率向上への取組

全国の金属製品塗装業事業所の業界団体への加盟率は、12.4%と低い状況にあり、業種全体としてのVOC推進が進めにくい状況にあります。費用の伴うVOC対策を業界団体のみを主体に進めることは、加盟していないアウトサイダー塗装業のVOC削減が進まないだけでなく、加盟企業が脱会してアウトサイダー化が進む恐れがあります。そこで、アウトサイダーの工業塗装企業に対し、業界団体への参加するよう働きかけを行います。

(2) VOC削減に向けた工程内対策の導入率向上

これまでVOC削減に効果のあった工程内対策について、その方法、効果、実証実験による知見、またVOC削減に関するセミナーなどの情報を、毎月発行の組合機関誌「工塗連ニュース」に掲載することで組合員に周知し、さらに導入率の向上に努力します。

また、低VOC塗料やVOC削減に効果のある塗装装置に関しても、塗料および塗装機械関連業界へ開発を要望するとともに、新商品の情報を組合員に紹介し、技術の向上を図ります。

VOC自主的取組(状況報告)

○ 団体名

日本ゴム工業会

○ 補足範囲

■ 業種

(代表的な業種) 19 ゴム製品製造業

■ 加盟率

87.8% (生産量ベース、ゴム製品統計年報および当会調査より算出)

■ 補足率

85.5% (業界からのVOC排出総量及び2000年度ゴム製品製造業VOC排出量等より算出)

○ 主な排出源

■ ゴム製品製造・塗装、接着、洗浄を含むゴム製品製造工程

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業 参加企業34社のうち、取扱量が1トン以上の32社が報告対象

■ 対象物質 アセトン、キシレン、酢酸エチル、トルエン、ゴム揮発油、その他炭化水素類等の17物質

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】
■ 全国										
使用量 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排出量	22,221	19,116	17,940	17,134	14,223	11,219	11,573	10,304	8,829	8,293
(増減率 ^{※2})	-	(▲14%)	(▲19%)	(▲23%)	(▲36%)	(▲50%)	(▲48%)	(▲54%)	(▲60%)	(▲63%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	-	-	38	37	37	36	36	36	36	34
(参考) 地域別排出量										
■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(対全国比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域 ^{※3}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域 ^{※5}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

■ 排出量の推計方法

参加各社の積み上げ(事業場ベースで取扱量1t以上)

■ 参加企業数の増減理由

会員企業の退会および調査対象企業の新規参入のため。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(作業方法の改善等)

- ・洗浄溶剤交換頻度の削減
- ・廃溶剤の再生、熱処理
- ・保管容器の小型化、密閉化
- ・塗布方法の改良
- ・接着剤オーバースプレーの削減

(原材料の転換・削減)

- ・溶剤・塗料の水溶性化推進
- ・VOC代替品への切り替え

(設備導入・改良等)

- ・溶剤回収装置の設置
- ・設備の密閉化による大気排出削減

■ 自己評価

平成25年度以降は、経済産業省よりVOC排出抑制に関する業界の方向性及び方策の策定について調査依頼があったことを受け、平成22年度の排出量(平成12年度対比49%削減)未満である『平成12年度対比50%以上削減』を維持し、引き続きVOCの排出削減に努めることを目標としている。平成25年度のVOC排出量は、8,293トンと2000年度比62.7%の削減となり、着実に成果を上げている。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

○ 団体名

日本自動車車体整備協同組合連合会

○ 補足範囲

■ 業種

(代表的な業種) 89 自動車整備業
自動車車体整備業

■ 加盟率

22.8% (企業数ベース、総務省企業統計から算出)

■ 補足率

約2% (日本塗料工業会の自動車補修分野における排出量から算出)

○ 主な排出源

■ 塗装

・事故等により破損した自動車のボデー・バンパー等の補修塗装

■ 乾燥

・スプレーガンによる吹き付け塗装時に発生する塗料からの溶剤の揮発

■ 洗浄

・スプレーガンの洗浄溶剤の揮発

■ 調色

・塗料の調色作業時の溶剤の揮発

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業

全会員企業

■ 対象物質

塗料中に含まれる全VOC

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】
■ 全国										
使用量 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排出量	245	-	414	391	338	364	367	364	362	349
(増減率 ^{※2})	-	-	(+69%)	(+60%)	(+38%)	(+49%)	(+50%)	(+49%)	(+48%)	(+42%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全組合員(推計)	13,143.0	-	6,707.0	6,047.0	4,910.0	5,044.0	5,137.0	4,568.0	4,408.0	
(増減率 ^{※2})	-	-	(▲49%)	(▲54%)	(▲63%)	(▲62%)	(▲61%)	(▲65%)	(▲66%)	
参加企業数	-	-	1,073	1,099	1,311	1,442	1,267	534	534	458
(参考)地域別排出量										
■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(対全国比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域 ^{※3}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域 ^{※5}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

使用量1 = (塗料購入量 - 年度末在庫量 + 前年度在庫量) × (1 - 固形分率)

使用量2 = (パテ購入量 - 年度末在庫量 + 前年度在庫量) × (1 - 固形分率)

使用量3 = シンナー購入量 - 年度末在庫量 + 前年度在庫量

年間VOC使用量 = 使用量1 + 2 + 3

■ 排出量の推計方法

排出量1 = (塗料購入量 - 年度末在庫量 + 前年度在庫量 - 廃塗料) × (1 - 固形分率)

排出量2 = (パテ購入量 - 年度末在庫量 + 前年度在庫量 - 廃塗料) × (1 - 固形分率)

排出量3 = シンナー購入量 - 年度末在庫量 + 前年度在庫量 - 廃シンナー

年間VOC排出量 = 排出量1 + 2 + 3

■ 参加企業数の増減理由

・会員数の減少及び平成23年度末の削減目標が達成され、規制の見直しが無かったこと

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(その他の対策)

- ・塗料の塗着効率の向上
- ・塗料の蒸発ロスの低減(保管・管理の徹底)
- ・低VOC塗料の採用

■ 自己評価

- ・車体整備市場の縮小によるVOCの排出量の減少が大きいと考えられる

○ その他

(注)固形分率(参考)クリアー40%、カラーベース25%、プラサフ65%、硬化剤45%、パテ94%

VOC自主的取組(状況報告)

○ 団体名

日本粘着テープ工業会

○ 補足範囲

■ 業種

(代表的な業種) 18 プラスチック製品製造業(別掲を除く)
粘着テープ製造業

■ 加盟率

約37%(企業数ベース)

■ 補足率

約37%(排出量ベース)

○ 主な排出源

■ 乾燥

・粘着テープの粘着剤および剥離剤の塗工、乾燥工程

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業

会員企業及び賛助会員企業(粘着テープ製造企業、剥離材製造企業)を対象

■ 対象物質

トルエン、キシレン、酢酸エチル、n-ヘキサン、メチルエチルケトン、その他

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】
■ 全国										
使用量 ^{※1}	62,251	59,452	53,425	54,473	47,553	52,576	44,700	44,500	46,495	44,856
排出量	21,175	12,315	10,423	8,855	8,611	6,589	5,090	4,600	4,463	4,334
(増減率 ^{※2})	-	(▲42%)	(▲51%)	(▲58%)	(▲59%)	(▲69%)	(▲76%)	(▲78%)	(▲79%)	(▲80%)
うち法規制対象施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
(参考)地域別排出量										
■ 対策地域計	14,745	9,475	8,273	7,150	6,252	5,285	3,652	2,745	2,440	2,463
(対全国比)	(70%)	(77%)	(79%)	(81%)	(73%)	(80%)	(72%)	(60%)	(55%)	(57%)
関東地域 ^{※3}	9,800	6,683	5,806	5,183	3,646	3,875	2,317	1,658	1,455	1,435
関西地域 ^{※4}	2,215	717	549	399	615	349	316	261	287	260
中部地域 ^{※5}	2,730	2,075	1,918	1,568	1,991	1,061	1,019	826	698	768

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

業界各社から提出頂いた使用量データを集計した。

■ 排出量の推計方法

業界各社から提出頂いた大気への排出量データを集計した。

■ 参加企業数の増減理由

16社 (1社減)

会員の中で日化協と日粘工の双方に報告をしていた会社があり、本年度から日化協への報告のみとした。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(その他の対策)

- ・無溶剤型粘着剤への切り替え
- ・粘着剤の高濃度化(ハイソリッド化)による溶剤の削減(リデュース)
- ・乾燥工程から溶剤回収し再使用(リユース)
- ・回収溶剤の燃焼装置による熱回収(リサイクル)
- ・溶剤回収脱着水の処理

<コスト>

- ・溶剤燃焼装置 約2億円/1基
- ・溶剤回収装置 約3億円/1基

■ 自己評価

H25年度のVOC使用量は昨年度より減少した。大気排出量も減少し、削減率が向上した。前記の「その他の対策」で上げている企業努力がVOC排出量の削減に繋がった結果と考える。

○ その他

日粘工会員会社の中で、統計を取り始めた当初から日化協と日粘工の双方にデータを報告していた会社があることが今年(H26年)になって判明したため、過去にさかのぼって数値を修正した。

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名 **全国楽器協会**
- 補足範囲
 ■ 業 種 (代表的な業種) 32 その他の製造業
 その他の製造業(楽器製造業)
- 加盟率 不明
- 補足率 87% (出荷額ベース)
- 主な排出源
 ■ 塗装 ・塗装工程での溶剤
 ■ 洗浄 ・洗浄工程での洗浄剤
- 除外・すそ切りの考え方
 ■ 対象企業 業界大手企業
- 対象物質 トルエン・スチレン・キシレン・ジクロロメタンの4物質 (PRTRの対象物質の中より排出量の上位物質)

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】
■ 全国										
使用量 ^{※1}	957	-	-	-	-	-	312	291	274	274
排出量	240	-	-	-	102	76	56	55	47	44
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	(▲58%)	(▲68%)	(▲77%)	(▲77%)	(▲80%)	(▲82%)
うち法規制対象施設	4	-	-	-	-	-	9	5	7	8
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	(+125%)	(+25%)	(+75%)	(+100%)
参加企業数	-	-	-	-	-	-	-	4	4	4
(参考) 地域別排出量										
■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(対全国比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域 ^{※3}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域 ^{※5}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

原材料購入量に、対象物質の含有率を掛けて算出。(含有率は原材料のMSDSに記載されている値)

■ 排出量の推計方法

以下①②いずれかの方法で算定

① 工程における排出量を実測

② 用途・使用方法から想定される排出係数を設定し、使用量に掛けて排出量を算定

■ 参加企業数の増減理由

増減なし

- 排出抑制に貢献する対策等
 - 対策及びその効果、コスト

■ 自己評価

- ・ 塗料使用量を減らす対策
平成21年度よりISO品質・環境の維持活動の一環として塗料使用量について歩留り管理を行い、VOCの排出量削減にむすびつけた。
- ・ VOC揮発量を減らす対策
作業環境改善対策の一環としても使用中の塗料缶に常時蓋をすることとし、さらに廃棄塗料缶は目張りをしたうえで廃棄処分することを経営標準として定めたことにより、VOC揮発量削減に効果があった。
- ・ 従業員の技能向上による対策
木工塗装技能士を計画的に育成し、塗装技能を向上させることにより不良率削減、塗料使用効率向上をはかった。
- ・ トリクロロエチレンの製造工程における使用全廃。
- ・ 排ガス燃焼処理設備の導入により、大幅な大気排出削減が実施できた。
(燃焼効率の高い設備を導入したことで、臭気対策にもつながった。)
- ・ 製造方法の改善や節減の取り組みが継続されており、使用量自体の削減とそれに伴う排出削減が進んでいるが、これについては
生産量減少の影響も大きい。
- ・ 自動車内装部品でのスプレー塗装から型内塗装への変更により、スチレンを含有しない塗料へと代替できた。現在も対象部品を拡大中。
- ・ 塗装時の塗り直し率の改善による塗料使用量の削減なども実施し、ハードとソフトの両面で排出抑制対策を進めている。

- その他

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名 **日本釣用品工業会**
- 補足範囲
 ■ 業 種 (代表的な業種) 32 その他の製造業
- 加盟率 90%程度 (製造品出荷ベース)
- 補足率 同上 (同上)
- 主な排出源
 ■ 洗浄 ・釣針製造の焼き入れ工程

- 除外・すそ切りの考え方
- 対象企業 会員であって、釣針製造業を営む企業(15社)および団体会員(兵庫県釣針協同組合(38社)、播州釣針協同組合(30社))を対象(83社)。参加は19社
- 対象物質 ジクロロメタン

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】
■ 全国										
使用量 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排出量	110	80	79	80	78	78	69	63	66	70
(増減率 ^{※2})	-	(▲27%)	(▲28%)	(▲27%)	(▲29%)	(▲29%)	(▲37%)	(▲43%)	(▲40%)	(▲36%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	-	-	-	-	-	-	-	19	19	19
(参考)地域別排出量										
■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(対全国比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域 ^{※3}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域 ^{※5}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

■ 排出量の推計方法

■ 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(その他の対策)

- ・洗浄設備の改善、導入
- ・洗浄工程の効率化
- ・代替物質の使用
- ・代替洗浄技術

■ 自己評価

自主計画ではあるものの、平成22年の値を上まわらないように業界として作業環境の改善に取り組んでいる。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名 **日本金属ハウスウェア工業組合**
- 補足範囲
 ■ 業 種 (代表的な業種) 24 金属製品製造業
 金属ハウスウェア製造業
- 加盟率 100% (会員企業ベース)
- 補足率 同上 (同上)
- 主な排出源
 ■ 洗浄 ・脱脂洗浄工程
- 除外・すそ切りの考え方
 ■ 対象企業 対象企業53社(100%)
- 対象物質 トリクロロエチレン

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】
■ 全国										
使用量 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排出量	489	-	-	-	-	312	302	270	262	260
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	(▲36%)	(▲38%)	(▲45%)	(▲46%)	(▲47%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	40	40	40	40	40
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	-	-	-	-	-	-	-	51	51	51
(参考) 地域別排出量										
■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(対全国比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域 ^{※3}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域 ^{※5}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

■ 排出量の推計方法

排出量 = 使用量 - 吸着回収量

■ 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(作業方法の改善等)

代替物質として臭素を導入検討

(その他の対策)

①未使用時における暴露軽減のために密閉用の蓋を設置するなど大気中の暴露対策(作業現場の公害防止策含む)実施

②トリクロロエチレン回収装置の推奨 ③洗浄対象物の臭素洗浄への移行の検討(2社が実質的な取組みを計画中)

■ 自己評価

当組合の組合員が製造している家庭用・業務用金属ハウスウェア製品群の洗浄工程では、当該物質の排出量は減少している。しかし、食品並びに化学プラント関係の大型タンク(配管設備含む)類を製造している組合員では、国内における設備投資等が改善傾向にあり当該物質の使用量並びに排出量の減少が鈍化傾向にある。現在、設備投資等のコストを掛けずに該当する揮発性有機物質の排出量を削減しているが、次年度は労安法の一部を改正する法律が施行されることから従事者の健康管理を含みながら洗浄関係団体の指導を受けより具体的な取組みを行ないたい。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名 **日本金属洋食器工業組合**
- 補足範囲
 ■ 業 種 (代表的な業種) 24 金属製品製造業
 金属洋食器製造業
- 加盟率 90%
- 補足率 同上
- 主な排出源
 ■ 洗浄 ・金属洋食器の研磨後の洗浄
- 除外・すそ切りの考え方
 ■ 対象企業 組合員中、アンケート回答があった会員を対象
- 対象物質 トリクロロエチレン

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】
■ 全国										
使用量 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排出量	201	-	-	-	-	39	33	29	28	28
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	(▲81%)	(▲84%)	(▲86%)	(▲86%)	(▲86%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-
(参考) 地域別排出量										
■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(対全国比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域 ^{※3}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域 ^{※5}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

■ 排出量の推計方法

■ 参加企業数の増減理由

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(その他の対策)

- ・回収装置の検討
- ・トリクロロエチレンに変わる代替品の使用

■ 自己評価

洗浄設備装置の改善により当該物質の排出量は抑制されてきているが、代替品については、いろいろと試行してみているが当該物質に代わるものは、まだ無い。今後は溶剤関係業者の指導を受けながら取り組みたい。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

- 団体名 **日本ガス石油機器工業会**
- 補足範囲
 ■ 業種 (代表的な業種) 24 金属製品製造業
 ガス・石油機器及び関連部品の製造業
- 加盟率 不明
- 補足率 88% (会社数ベースの補足率であるが、未回答会社はVOCを排出していない若しくは排出量が微量の会社であり、VOC排出量としての補足率はほぼ100%と考える。)
- 主な排出源
 ■ 塗装 ・塗装工程
 ■ 洗浄 ・脱脂洗浄工程
- 除外・すそ切りの考え方
 ■ 対象企業 工業会の全会員会社
- 対象物質 塗装工程及び脱脂洗浄工程から排出されるVOCの総量

○ 排出状況 (単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】
■ 全国										
使用量 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排出量	765	-	-	581	526	499	513	588	529	560
(増減率 ^{※2})	-	-	-	(▲24%)	(▲31%)	(▲35%)	(▲33%)	(▲23%)	(▲31%)	(▲27%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	-	-	-	-	-	-	-	80	78	88
(参考) 地域別排出量										
■ 対策地域計	-	-	-	178	155	165	148	168	167	200
(対全国比)	-	-	-	(31%)	(29%)	(33%)	(29%)	(29%)	(32%)	(36%)
関東地域 ^{※3}	-	-	-	51	45	30	21	31	26	47
関西地域 ^{※4}	-	-	-	51	39	56	36	27	25	25
中部地域 ^{※5}	-	-	-	76	71	79	91	110	116	129

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

■ 排出量の推計方法

次の量の合計をVOC排出量とした。

- ・ 塗装工程で使用した有機溶剤等の使用量にVOCの含有率及び排出係数を乗じた量
- ・ 脱脂洗浄工程で使用した脱脂洗浄剤の使用量に排出係数を乗じた量

■ 参加企業数の増減理由

会員会社数100社、回答会社数88社で、回答会社数は会員会社の協力により昨年比で10社増加したが、会員会社数そのものは昨年並みである。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

(その他の対策)

- ①代替物質への転換
- ②施設・設備・プロセスの改善
- ③回収・処理設備の設置
- ④設備・工程管理の強化

■ 自己評価

平成25年度の排出量(559.9トン)は、平成22年度まで他団体に報告していた2社の排出量(69.6トン)及び平成25年度に新規参加した1社の排出量(35.3トン)を含んだ量である。

これら3社を除く排出量は454.7トンであり、基準年度[平成12年度(765トン)]比で40.6%減、新たな取組みの目指すべき方向性として掲げた平成22年度(513トン)比で11.4%減となり、VOC低減への各社の取組みに効果があったと評価する。今後は、平成23年度以降に参加した3社を含めた排出量が、新たな取組みの目指すべき方向性として掲げた平成22年度比で悪化しないように取り組んでいきたい。

○ その他

VOC自主的取組(状況報告)

○ 団体名

産業環境管理協会

○ 補足範囲

■ 業種

(代表的な業種) 99 分類不能の産業

参加企業数が極めて少ないため、個別企業の属性に関する情報の開示は控える

■ 加盟率

0%

■ 補足率

0%

○ 主な排出源

・参加企業数が極めて少ないため、個別企業の属性に関する情報の開示は控える。

○ 除外・すそ切りの考え方

■ 対象企業

排出量報告を行っている業界団体に、所属していない企業

■ 対象物質

全VOC

○ 排出状況

(単位:トン)

	【12年度】	【17年度】	【18年度】	【19年度】	【20年度】	【21年度】	【22年度】	【23年度】	【24年度】	【25年度】
■ 全国										
使用量 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排出量	2,600	2,600	2,586	2,563	2,109	1,385	1,666	1,784	1,576	1,578
(増減率 ^{※2})	-	(+0%)	(▲1%)	(▲1%)	(▲19%)	(▲47%)	(▲36%)	(▲31%)	(▲39%)	(▲39%)
うち法規制対象施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(増減率 ^{※2})	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
参加企業数	-	-	-	-	-	-	-	30	25	24
(参考) 地域別排出量										
■ 対策地域計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(対全国比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東地域 ^{※3}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西地域 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部地域 ^{※5}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 使用量とは、燃料として使用したものを除く。

※2 増減率(%) = $\frac{(\text{当該年度の排出量} - \text{12年度の排出量})}{\text{12年度の排出量}} \times 100$

※3 関東地域: 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

※4 関西地域: 大阪府、兵庫県

※5 中部地域: 愛知県、三重県

(注) 物質別の排出量を推計している場合は、別紙に、物質別の排出量を記入してください。

■ 使用量の推計方法

■ 排出量の推計方法

・PRTR大気排出量

・VOC製品の取扱量と有機溶剤比率から大気排出量を求めたもの

■ 参加企業数の増減理由

・VOCの使用を全廃した。

○ 排出抑制に貢献する対策等

■ 対策及びその効果、コスト

（作業方法の改善等）

1. 溶剤回収装置の回収効率の維持に苦心、水性インク実用化を開始
2. 蓋設置、業務終了時蓋励行

（原材料の転換・削減）

低VOC製品への代替、

（設備導入・改良等）

除去設備の設置

■ 自己評価

継続報告企業の合計排出量は平成22年度より減少している。

○ その他

産業環境管理協会は、業界団体に属さない企業の自主的取組を支援するため、平成19年10月に「VOC自主的取組支援ボード」を開設した。このため、当協会は特定業種を代表しているわけではなく、広くVOCを排出している企業に対する「排出量報告の受け皿」と「助言・情報提供」を目的に、支援ボードを運営している。

また、支援ボード参加の条件として、公表を前提として報告する情報を除き、個別企業の情報に関する一切守秘されることとしているため、排出量の集計値以外は公表することができない。

VOC排出抑制に係る自主的取組のフォローアップについて
平成25年度実績（物質別排出量）

全体	79	21 軽金属製品協会	99
1 日本ガス協会	80	22 日本プラスチック工業連盟	100
2 日本染色協会	81	23 日本オフィス家具協会	101
3 日本製紙連合会	82	24 日本表面処理機材工業会	102
4 日本鉄鋼連盟	83	25 日本自動車車体工業会	103
5 電機・電子4団体	84	26 日本接着剤工業会	104
6 日本塗料工業会	85	28 プレハブ建築協会	105
7 日本自動車部品工業会	86	29 印刷インキ工業連合会	106
8 日本自動車工業会	87	30 日本工業塗装協同組合連合会	107
9 線材製品協会	88	31 日本ゴム工業会	108
10 日本伸銅協会	89	32 日本自動車車体整備協同組合連合会	109
11 全国鍍金工業組合連合会	90	33 日本粘着テープ工業会	110
12 日本電線工業会	91	34 全国楽器協会	111
14 日本アルミニウム協会	92	35 日本釣用品工業会	112
15 日本建材・住宅設備産業協会	93	36 日本金属ハウスウェア工業組合	113
16 天然ガス鉱業会	94	37 日本金属洋食器工業組合	114
17 石油連盟	95	39 日本ガス石油機器工業会	115
18 日本化学工業協会	96	その他（産業環境管理協会）	116
19 日本印刷産業連合会	97		
20 ドラム缶工業会	98		

物質別VOC排出量(合計)

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	87,297	17%	54,727	15%	48,219	14%	42,087	13%	35,317	13%	30,935	12%	25,338	11%	21,719	11%	18,553	9%	18,135	9%
—	炭化水素類	72,324	14%	63,061	17%	63,288	18%	59,620	18%	54,927	20%	52,806	21%	50,459	23%	47,535	23%	47,506	24%	47,147	24%
—	酢酸エチル	30,894	6%	30,075	8%	23,580	7%	21,330	6%	18,054	7%	19,964	8%	13,398	6%	11,789	6%	11,130	6%	11,972	6%
—	メチルエチルケトン	24,628	5%	19,299	5%	19,073	5%	16,302	5%	13,522	5%	12,052	5%	10,219	5%	7,881	4%	5,117	3%	5,501	3%
80	キシレン	22,493	4%	13,547	4%	12,026	3%	11,371	3%	9,423	3%	7,681	3%	6,734	3%	6,408	3%	6,484	3%	6,425	3%
—	イソプロピルアルコール	19,634	4%	16,560	4%	14,877	4%	12,843	4%	9,303	3%	9,569	4%	9,299	4%	7,022	3%	7,458	4%	7,276	4%
—	メチルアルコール(メタノール)	13,219	3%	8,425	2%	8,080	2%	7,062	2%	6,141	2%	5,368	2%	5,607	3%	5,237	3%	5,442	3%	5,685	3%
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)	12,376	2%	6,925	2%	5,483	2%	4,525	1%	3,363	1%	2,949	1%	2,303	1%	2,606	1%	2,452	1%	2,285	1%
—	アセトン	9,019	2%	5,511	1%	5,289	2%	5,153	2%	4,004	1%	3,898	2%	4,012	2%	3,794	2%	3,538	2%	3,478	2%
392	ノルマルーヘキサン	8,398	2%	7,067	2%	7,670	2%	8,451	3%	7,100	3%	6,039	2%	3,541	2%	3,029	1%	2,750	1%	3,031	2%
—	シクロヘキサン	4,129	1%	2,747	1%	2,588	1%	2,732	1%	2,622	1%	2,168	1%	1,541	1%	1,501	1%	1,238	1%	937	0%
53	エチルベンゼン	3,830	1%	3,835	1%	3,756	1%	3,863	1%	3,317	1%	2,952	1%	2,905	1%	2,761	1%	2,968	2%	3,114	2%
128	クロロメタン(塩化メチル)	3,371	1%	576	0%	403	0%	313	0%	269	0%	387	0%	263	0%	168	0%	1,374	1%	1,530	1%
232	N,N-ジメチルホルムアミド	3,215	1%	2,000	1%	2,268	1%	2,152	1%	1,547	1%	1,116	0%	588	0%	182	0%	287	0%	285	0%
318	二硫化炭素	2,073	0%	2,883	1%	2,186	1%	2,044	1%	1,837	1%	1,680	1%	1,966	1%	2,140	1%	1,797	1%	1,839	1%
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)	1,879	0%	31	0%	30	0%	22	0%	16	0%	3	0%	15	0%	0	0%	13	0%	13	0%
281	トリクロロエチレン	1,807	0%	1,480	0%	1,431	0%	1,416	0%	1,334	0%	931	0%	972	0%	871	0%	840	0%	823	0%
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	1,765	0%	1,129	0%	921	0%	887	0%	711	0%	641	0%	620	0%	605	0%	613	0%	659	0%
134	酢酸ビニル	1,610	0%	1,034	0%	843	0%	616	0%	538	0%	633	0%	586	0%	2	0%	487	0%	467	0%
400	ベンゼン	1,561	0%	323	0%	307	0%	284	0%	279	0%	220	0%	212	0%	0	0%	178	0%	197	0%
240	スチレン	1,417	0%	768	0%	829	0%	727	0%	448	0%	423	0%	300	0%	30	0%	256	0%	264	0%
—	プロピルアルコール	1,311	0%	1,109	0%	1,144	0%	897	0%	732	0%	566	0%	651	0%	0	0%	435	0%	354	0%
157	1,2-ジクロロエタン	1,157	0%	204	0%	184	0%	208	0%	153	0%	0	0%	148	0%	0	0%	102	0%	124	0%
94	クロロエチレン(塩化ビニル)	1,072	0%	204	0%	181	0%	176	0%	148	0%	0	0%	154	0%	0	0%	132	0%	119	0%
83	クメン(イソプロピルベンゼン)	897	0%	237	0%	270	0%	263	0%	284	0%	219	0%	191	0%	2	0%	131	0%	192	0%
—	クロロエタン	826	0%	93	0%	77	0%	45	0%	40	0%	78	0%	55	0%	0	0%	87	0%	75	0%
262	テトラクロロエチレン	485	0%	223	0%	153	0%	110	0%	87	0%	68	0%	100	0%	62	0%	64	0%	73	0%
86	クレゾール	269	0%	71	0%	47	0%	47	0%	38	0%	25	0%	23	0%	26	0%	25	0%	30	0%
—	ブタノール	226	0%	231	0%	239	0%	255	0%	237	0%	212	0%	168	0%	154	0%	150	0%	152	0%
—	ブチルセロソルブ	185	0%	225	0%	22	0%	29	0%	21	0%	2	0%	2	0%	2	0%	7	0%	5	0%
349	フェノール	107	0%	41	0%	40	0%	42	0%	30	0%	22	0%	30	0%	27	0%	30	0%	31	0%
—	メチルイソブチルケトン	101	0%	82	0%	77	0%	88	0%	97	0%	50	0%	72	0%	74	0%	65	0%	70	0%
—	イソブタノール	58	0%	71	0%	60	0%	45	0%	32	0%	26	0%	26	0%	7	0%	5	0%	7	0%
—	酢酸ブチル	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	3	0%	6	0%
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート)	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	33	0%
58	エチレングリコールモノメチルエーテル	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	3	0%	0	0%
339	N-ビニル-2-ピロリドン	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
—	その他	48,415	10%	30,909	8%	32,121	9%	28,974	9%	23,250	8%	19,478	8%	23,258	10%	24,333	12%	23,197	12%	22,756	12%
—	物質別データなし	119,947	24%	96,094	26%	93,648	27%	95,686	29%	78,195	28%	65,011	26%	57,949	26%	55,651	27%	50,931	26%	50,011	26%
	合計	501,603	100%	371,811	100%	351,413	100%	330,673	100%	277,413	100%	248,165	100%	223,724	100%	205,599	100%	195,844	100%	195,187	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本ガス協会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																				
—	炭化水素類	87	20%	27	15%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
—	酢酸エチル																				
—	メチルエチルケトン																				
80	キシレン																				
—	イソプロピルアルコール																				
—	メチルアルコール(メタノール)																				
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																				
—	アセトン																				
392	ノルマルーヘキサン																				
—	シクロヘキサン																				
53	エチルベンゼン																				
128	クロロメタン(塩化メチル)																				
232	N,N-ジメチルホルムアミド																				
318	二硫化炭素																				
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																				
281	トリクロロエチレン																				
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																				
134	酢酸ビニル																				
400	ベンゼン																				
240	スチレン																				
—	プロピルアルコール																				
157	1,2-ジクロロエタン																				
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																				
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																				
—	クロロエタン																				
262	テトラクロロエチレン																				
86	クレゾール																				
—	ブタノール																				
—	ブチルセロソルブ																				
349	フェノール																				
—	メチルイソブチルケトン																				
—	イソブタノール																				
—	酢酸ブチル																				
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																				
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																				
339	N-ビニル-2-ピロリドン																				
—	その他																				
—	物質別データなし																				
	合計	436	100%	184	100%	175	100%	159	100%	110	100%	89	100%	88	100%	83	100%	82	100%	86	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本染色協会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	2,648	607%	2,036	1107%	2,104	1202%	1,944	1223%	1,540	1400%	1,180	1326%	825	938%	654	788%	414	505%	464	539%
—	炭化水素類																				
—	酢酸エチル	165	38%	149	81%	187	107%	201	126%	166	151%	146	164%	95	108%	484	583%	282	344%	197	229%
—	メチルエチルケトン	1,446	332%	1,416	770%	1,568	896%	1,429	899%	1,221	1110%	942	1058%	697	792%	377	454%	176	215%	197	229%
80	キシレン	228	52%	130	71%	110	63%	82	52%	82	75%	55	62%	75	85%	52	63%	57	70%	57	66%
—	イソプロピルアルコール	351	81%	359	195%	409	234%	448	282%	406	369%	321	361%	316	359%	335	404%	513	626%	307	357%
—	メチルアルコール(メタノール)																				
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																				
—	アセトン																				
392	ノルマルーヘキサン																				
—	シクロヘキサン																				
53	エチルベンゼン																				
128	クロロメタン(塩化メチル)																				
232	N,N-ジメチルホルムアミド	1,104	253%	944	513%	970	554%	950	597%	670	609%	564	634%	258	293%	160	193%	93	113%	100	116%
318	二硫化炭素																				
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																				
281	トリクロロエチレン																				
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	45	10%	42	23%	17	10%	26	16%	18	16%	24	27%	29	33%	35	42%	32	39%	31	36%
134	酢酸ビニル																				
400	ベンゼン																				
240	スチレン																				
—	プロピルアルコール																				
157	1,2-ジクロロエタン																				
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																				
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																				
—	クロロエタン																				
262	テトラクロロエチレン																				
86	クレゾール																				
—	ブタノール																				
—	ブチルセロソルブ	185	42%	225	122%	22	13%	29	18%	21	19%	2	2%	2	2%	2	2%	1	1%	5	6%
349	フェノール																				
—	メチルイソブチルケトン																				
—	イソブタノール	58	13%	71	39%	60	34%	45	28%	32	29%	26	29%	26	30%	7	8%	4	5%	7	8%
—	酢酸ブチル																				
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート)																				
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																				
339	N-ビニル-2-ピロリドン																				
—	その他	2,328	534%	1,746	949%	1,441	823%	1,200	755%	1,006	915%	796	894%	720	818%	621	748%	500	610%	437	508%
—	物質別データなし																				
	合計	436	100%	184	100%	175	100%	159	100%	110	100%	89	100%	88	100%	83	100%	82	100%	86	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名:日本製紙連合会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																				
—	炭化水素類																				
—	酢酸エチル																				
—	メチルエチルケトン																				
80	キシレン																				
—	イソプロピルアルコール																				
—	メチルアルコール(メタノール)																				
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																				
—	アセトン																				
392	ノルマルーヘキサン																				
—	シクロヘキサン																				
53	エチルベンゼン																				
128	クロロメタン(塩化メチル)																				
232	N,N-ジメチルホルムアミド																				
318	二硫化炭素																				
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																				
281	トリクロロエチレン																				
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																				
134	酢酸ビニル																				
400	ベンゼン																				
240	スチレン																				
—	ブロピルアルコール																				
157	1,2-ジクロロエタン																				
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																				
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																				
—	クロロエタン																				
262	テトラクロロエチレン																				
86	クレゾール																				
—	ブタノール																				
—	ブチルセロソルブ																				
349	フェノール																				
—	メチルイソブチルケトン																				
—	イソブタノール																				
—	酢酸ブチル																				
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																				
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																				
339	N-ビニル-2-ピロリドン																				
—	その他																				
—	物質別データなし	9,533	2187%	3,819	2076%	4,212	2407%	3,708	2332%	3,272	2974%	3,202	3597%	1,317	1496%	1,324	1595%	1,219	1487%	1,252	1455%
	合計	436	100%	184	100%	175	100%	159	100%	110	100%	89	100%	88	100%	83	100%	82	100%	86	100%

注1)四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2)年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本鉄鋼連盟

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																				
—	炭化水素類																				
—	酢酸エチル																				
—	メチルエチルケトン																				
80	キシレン																				
—	イソプロピルアルコール																				
—	メチルアルコール(メタノール)																				
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																				
—	アセトン																				
392	ノルマルーヘキサン																				
—	シクロヘキサン																				
53	エチルベンゼン																				
128	クロロメタン(塩化メチル)																				
232	N,N-ジメチルホルムアミド																				
318	二硫化炭素																				
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																				
281	トリクロロエチレン																				
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																				
134	酢酸ビニル																				
400	ベンゼン																				
240	スチレン																				
—	ブロピルアルコール																				
157	1,2-ジクロロエタン																				
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																				
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																				
—	クロロエタン																				
262	テトラクロロエチレン																				
86	クレゾール																				
—	ブタノール																				
—	ブチルセロソルブ																				
349	フェノール																				
—	メチルイソブチルケトン																				
—	イソブタノール																				
—	酢酸ブチル																				
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																				
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																				
339	N-ビニル-2-ピロリドン																				
—	その他																				
—	物質別データなし	6,992	1604%	4,518	2455%	4,537	2593%	4,355	2739%	3,996	3633%	3,133	3520%	3,043	3458%	2,777	3346%	2,365	2884%	2,252	2618%
	合計	436	100%	184	100%	175	100%	159	100%	110	100%	89	100%	88	100%	83	100%	82	100%	86	100%

注1)四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2)年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名:電機・電子4団体

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																				
—	炭化水素類																				
—	酢酸エチル																				
—	メチルエチルケトン																				
80	キシレン																				
—	イソプロピルアルコール																				
—	メチルアルコール(メタノール)																				
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																				
—	アセトン																				
392	ノルマルーヘキサン																				
—	シクロヘキサン																				
53	エチルベンゼン																				
128	クロロメタン(塩化メチル)																				
232	N,N-ジメチルホルムアミド																				
318	二硫化炭素																				
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																				
281	トリクロロエチレン																				
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																				
134	酢酸ビニル																				
400	ベンゼン																				
240	スチレン																				
—	ブロピルアルコール																				
157	1,2-ジクロロエタン																				
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																				
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																				
—	クロロエタン																				
262	テトラクロロエチレン																				
86	クレゾール																				
—	ブタノール																				
—	ブチルセロソルブ																				
349	フェノール																				
—	メチルイソブチルケトン																				
—	イソブタノール																				
—	酢酸ブチル																				
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																				
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																				
339	N-ビニル-2-ピロリドン																				
—	その他																				
—	物質別データなし	24,984	5730%	18,018	9792%	16,843	9625%	16,692	10498%	13,635	12395%	11,345	12747%	11,024	12527%	10,373	12498%	8,610	10500%	7,977	9273%
	合計	436	100%	184	100%	175	100%	159	100%	110	100%	89	100%	88	100%	83	100%	82	100%	86	100%

注1)四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2)年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本塗料工業会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	952	218%	585	318%	549	314%	510	321%	414	376%	369	415%	371	422%	332	400%	337	411%	315	366%
—	炭化水素類																				
—	酢酸エチル	169	39%	152	83%	179	102%	195	123%	219	199%	196	220%	184	209%	196	236%	170	207%	178	207%
—	メチルエチルケトン	95	22%	123	67%	97	55%	105	66%	118	107%	108	121%	83	94%	56	67%	56	68%	63	73%
80	キシレン	433	99%	371	202%	364	208%	377	237%	287	261%	244	274%	234	266%	249	300%	235	287%	219	255%
—	イソプロピルアルコール	81	19%	87	47%	70	40%	72	45%	98	89%	86	97%	77	88%	73	88%	74	90%	70	81%
—	メチルアルコール(メタノール)																				
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																				
—	アセトン																				
392	ノルマルーヘキサン																				
—	シクロヘキサン																				
53	エチルベンゼン	244	56%	172	93%	213	122%	223	140%	195	177%	157	176%	151	172%	155	187%	156	190%	147	171%
128	クロロメタン(塩化メチル)																				
232	N,N-ジメチルホルムアミド																				
318	二硫化炭素																				
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																				
281	トリクロロエチレン																				
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																				
134	酢酸ビニル																				
400	ベンゼン																				
240	スチレン																				
—	プロピルアルコール																				
157	1,2-ジクロロエタン																				
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																				
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																				
—	クロロエタン																				
262	テトラクロロエチレン																				
86	クレゾール																				
—	ブタノール	65	15%	70	38%	76	43%	74	47%	73	66%	50	56%	57	65%	47	57%	45	55%	45	52%
—	ブチルセロソルブ																				
349	フェノール																				
—	メチルイソブチルケトン	78	18%	79	43%	74	42%	84	53%	92	84%	48	54%	67	76%	67	81%	47	57%	51	59%
—	イソブタノール																				
—	酢酸ブチル																				
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート)																				
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																				
339	N-ビニル-2-ピロリドン																				
—	その他	1,830	420%	1,422	773%	1,285	734%	1,299	817%	1,316	1196%	1,150	1292%	1,094	1243%	1,080	1301%	1,041	1270%	1,007	1171%
—	物質別データなし																				
	合計	436	100%	184	100%	175	100%	159	100%	110	100%	89	100%	88	100%	83	100%	82	100%	86	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本自動車部品工業会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	6,704	1538%	5,227	2841%	4,585	2620%	4,076	2564%	3,085	2805%	3,227	3626%	3,192	3627%	2,456	2959%	1,709	2084%	2,080	2418%
—	炭化水素類																				
—	酢酸エチル																				
—	メチルエチルケトン	1,737	398%	1,706	927%	1,666	952%	1,518	955%	1,085	986%	1,195	1343%	738	839%	661	796%	629	767%	566	658%
80	キシレン	2,390	548%	2,625	1427%	2,163	1236%	2,159	1358%	1,708	1553%	1,503	1689%	1,168	1327%	1,208	1455%	940	1146%	776	902%
—	イソプロピルアルコール																				
—	メチルアルコール(メタノール)	1,935	444%	1,545	840%	1,439	822%	1,055	664%	632	575%	610	685%	690	784%	430	518%	794	968%	616	716%
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)	3,058	701%	1,302	708%	910	520%	755	475%	634	576%	384	431%	199	226%	168	202%	124	151%	74	86%
—	アセトン	1,403	322%	293	159%	350	200%	309	194%	135	123%	95	107%	106	120%	116	140%	147	179%	45	52%
392	ノルマルーヘキサン																				
—	シクロヘキサン																				
53	エチルベンゼン																				
128	クロロメタン(塩化メチル)																				
232	N,N-ジメチルホルムアミド																				
318	二硫化炭素																				
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																				
281	トリクロロエチレン																				
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																				
134	酢酸ビニル																				
400	ベンゼン																				
240	スチレン																				
—	ブロピルアルコール																				
157	1,2-ジクロロエタン																				
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																				
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																				
—	クロロエタン																				
262	テトラクロロエチレン																				
86	クレゾール																				
—	ブタノール																				
—	ブチルセロソルブ																				
349	フェノール																				
—	メチルイソブチルケトン																				
—	イソブタノール																				
—	酢酸ブチル																				
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																				
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																				
339	N-ビニル-2-ピロリドン																				
—	その他	5,498	1261%	5,425	2948%	6,161	3521%	6,189	3892%	4,943	4494%	4,688	5267%	3,401	3865%	3,494	4210%	4,044	4932%	3,785	4400%
—	物質別データなし																				
	合計	436	100%	184	100%	175	100%	159	100%	110	100%	89	100%	88	100%	83	100%	82	100%	86	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名: 日本自動車工業会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	6,127	1405%	4,189	2277%	4,250	2429%	4,087	2570%	3,288	2989%	2,541	2855%	2,357	2678%	2,209	2661%	2,416	2946%	2,220	2581%
—	炭化水素類																				
—	酢酸エチル																				
—	メチルエチルケトン																				
80	キシレン	11,086	2543%	5,142	2795%	4,783	2733%	4,611	2900%	3,748	3407%	3,063	3442%	2,556	2905%	2,506	3019%	2,783	3394%	2,772	3222%
—	イソプロピルアルコール																				
—	メチルアルコール(メタノール)																				
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																				
—	アセトン																				
392	ノルマル-ヘキサン																			13	15%
—	シクロヘキサン																				
53	エチルベンゼン	1,991	457%	1,978	1075%	2,085	1191%	2,242	1410%	1,896	1724%	1,631	1833%	1,649	1874%	1,607	1936%	1,731	2111%	1,882	2188%
128	クロロメタン(塩化メチル)																				
232	N,N-ジメチルホルムアミド																				
318	二硫化炭素																				
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																				
281	トリクロロエチレン																				
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	344	79%	614	334%	618	353%	573	360%	496	451%	397	446%	367	417%	383	461%	365	445%	423	492%
134	酢酸ビニル																				
400	ベンゼン																			1	1%
240	スチレン																				
—	プロピルアルコール																				
157	1,2-ジクロロエタン																				
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																				
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																			18	21%
—	クロロエタン																				
262	テトラクロロエチレン																				
86	クレゾール																				
—	ブタノール																				
—	ブチルセロソルブ																				
349	フェノール																				
—	メチルイソブチルケトン																				
—	イソブタノール																				
—	酢酸ブチル																				
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート)																			33	38%
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																				
339	N-ビニル-2-ピロリドン																				
—	その他													662	752%	717	864%	584	712%	781	908%
—	物質別データなし	33,137	7600%	29,276	15911%	29,240	16709%	27,782	17473%	22,790	20718%	18,641	20945%	18,032	20491%	17,499	21083%	16,345	19933%	16,963	19718%
	合計	436	100%	184	100%	175	100%	159	100%	110	100%	89	100%	88	100%	83	100%	82	100%	86	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名:線材製品協会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	68	16%	73	40%	76	44%	78	49%	69	63%	50	57%	50	57%	50	60%	53	65%	48	55%
—	炭化水素類																				
—	酢酸エチル	96	22%	21	12%	18	10%	21	13%	22	20%	16	17%	18	21%	23	27%	27	33%	32	37%
—	メチルエチルケトン	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
80	キシレン	7	2%	17	9%	14	8%	9	6%	11	10%	6	7%	6	7%	7	8%	3	4%	7	8%
—	イソプロピルアルコール	1	0%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%		
—	メチルアルコール(メタノール)																				
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)	420	96%	430	234%	381	217%	220	138%	140	127%	83	93%	86	98%	73	88%	66	81%	47	55%
—	アセトン	45	10%	38	21%	38	22%	41	26%	31	28%	19	21%	16	18%	13	16%	22	27%	21	25%
392	ノルマルーヘキサン																				
—	シクロヘキサン																				
53	エチルベンゼン																				
128	クロロメタン(塩化メチル)																				
232	N,N-ジメチルホルムアミド																				
318	二硫化炭素																				
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																				
281	トリクロロエチレン	153	35%	78	42%	35	20%	21	13%	10	9%	9	10%	11	13%	11	13%	0	0%	0	0%
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	15	3%	13	7%	11	6%	9	6%	3	3%	3	3%	4	5%	3	4%	3	3%	2	3%
134	酢酸ビニル																				
400	ベンゼン																				
240	スチレン																				
—	プロピルアルコール																				
157	1,2-ジクロロエタン																				
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																				
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																				
—	クロロエタン																				
262	テトラクロロエチレン	485	111%	223	121%	153	87%	110	69%	87	79%	68	77%	100	114%	62	75%	64	78%	73	85%
86	クレゾール																				
—	ブタノール																				
—	ブチルセロソルブ																				
349	フェノール																				
—	メチルイソブチルケトン																				
—	イソブタノール																				
—	酢酸ブチル																				
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																				
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																				
339	N-ビニル-2-ピロリドン																				
—	その他																				
—	物質別データなし																				
	合計	436	100%	184	100%	175	100%	159	100%	110	100%	89	100%	88	100%	83	100%	82	100%	86	100%

注1)四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2)年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本伸銅協会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	318	73%	178	97%	170	97%	155	97%	108	98%	85	96%	86	98%	81	97%	79	96%	82	95%
—	炭化水素類																				
—	酢酸エチル																				
—	メチルエチルケトン																				
80	キシレン	17	4%	3	2%	4	2%	4	3%	2	2%	2	2%	2	2%	2	3%	3	3%	3	4%
—	イソプロピルアルコール																				
—	メチルアルコール(メタノール)																				
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)	100	23%	2	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
—	アセトン																				
392	ノルマルーヘキサン																				
—	シクロヘキサン																				
53	エチルベンゼン	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
128	クロロメタン(塩化メチル)																				
232	N,N-ジメチルホルムアミド																				
318	二硫化炭素																				
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																				
281	トリクロロエチレン																				
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	1	0%	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	2%	0	0%	0	0%	0	0%	1	1%
134	酢酸ビニル																				
400	ベンゼン	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
240	スチレン																				
—	プロピルアルコール																				
157	1,2-ジクロロエタン																				
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																				
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																				
—	クロロエタン																				
262	テトラクロロエチレン																				
86	クレゾール																				
—	ブタノール																				
—	ブチルセロソルブ																				
349	フェノール																				
—	メチルイソブチルケトン																				
—	イソブタノール																				
—	酢酸ブチル																				
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート)																				
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																				
339	N-ビニル-2-ピロリドン																				
—	その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
—	物質別データなし																				
	合計	436	100%	184	100%	175	100%	159	100%	110	100%	89	100%	88	100%	83	100%	82	100%	86	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：全国鍍金工業組合連合会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																				
—	炭化水素類																				
—	酢酸エチル																				
—	メチルエチルケトン																				
80	キシレン																				
—	イソプロピルアルコール																				
—	メチルアルコール(メタノール)																				
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)	392	90%	280	152%	275	157%	271	170%	244	222%	220	247%	220	250%	200	241%	210	256%	195	227%
—	アセトン																				
392	ノルマルーヘキサン																				
—	シクロヘキサン																				
53	エチルベンゼン																				
128	クロロメタン(塩化メチル)																				
232	N,N-ジメチルホルムアミド																				
318	二硫化炭素																				
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																				
281	トリクロロエチレン	964	221%	712	387%	706	403%	705	443%	634	576%	571	642%	626	711%	561	676%	550	671%	535	622%
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																				
134	酢酸ビニル																				
400	ベンゼン																				
240	スチレン																				
—	ブロピルアルコール																				
157	1,2-ジクロロエタン																				
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																				
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																				
—	クロロエタン																				
262	テトラクロロエチレン																				
86	クレゾール																				
—	ブタノール																				
—	ブチルセロソルブ																				
349	フェノール																				
—	メチルイソブチルケトン																				
—	イソブタノール																				
—	酢酸ブチル																				
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																				
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																				
339	N-ビニル-2-ピロリドン																				
—	その他																				
—	物質別データなし																				
	合計	436	100%	184	100%	175	100%	159	100%	110	100%	89	100%	88	100%	83	100%	82	100%	86	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本電線工業会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	126	29%	60	33%	56	32%	46	29%	39	35%	42	47%	45	51%	41	49%	36	44%	48	56%
—	炭化水素類																				
—	酢酸エチル																				
—	メチルエチルケトン	44	10%	45	24%	59	34%	58	36%	44	40%	45	51%	41	47%	33	40%	32	39%	34	40%
80	キシレン	138	32%	57	31%	78	45%	64	40%	58	53%	46	52%	61	69%	55	66%	55	67%	45	52%
—	イソプロピルアルコール	234	54%	375	204%	371	212%	296	186%	270	245%	186	209%	181	206%	161	194%	143	174%	161	187%
—	メチルアルコール(メタノール)	68	16%	46	25%	75	43%	72	45%	61	55%	57	64%	65	74%	64	77%	50	61%	62	72%
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)	35	8%	2	1%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
—	アセトン	175	40%	111	60%	110	63%	103	65%	93	85%	78	88%	95	108%	81	98%	65	79%	61	71%
392	ノルマルーヘキサン																				
—	シクロヘキサン																				
53	エチルベンゼン																				
128	クロロメタン(塩化メチル)																				
232	N,N-ジメチルホルムアミド	73	17%	40	22%	44	25%	33	21%	30	27%	34	38%	31	35%	22	27%	21	26%	21	24%
318	二硫化炭素																				
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																				
281	トリクロロエチレン																				
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																				
134	酢酸ビニル																				
400	ベンゼン																				
240	スチレン																				
—	プロピルアルコール																				
157	1,2-ジクロロエタン																				
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																				
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																				
—	クロロエタン																				
262	テトラクロロエチレン																				
86	クレゾール	269	62%	71	39%	47	27%	47	30%	38	35%	25	28%	23	26%	26	31%	25	30%	30	35%
—	ブタノール																				
—	ブチルセロソルブ																				
349	フェノール	107	25%	41	22%	40	23%	42	26%	30	27%	22	25%	30	34%	27	33%	30	37%	31	36%
—	メチルイソブチルケトン																				
—	イソブタノール																				
—	酢酸ブチル																				
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																				
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																				
339	N-ビニル-2-ピリドン																				
—	その他	170	39%	165	90%	165	94%	188	118%	159	145%	125	140%	135	153%	122	147%	118	144%	126	146%
—	物質別データなし																				
	合計	436	100%	184	100%	175	100%	159	100%	110	100%	89	100%	88	100%	83	100%	82	100%	86	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本アルミニウム協会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																				
—	炭化水素類																				
—	酢酸エチル																				
—	メチルエチルケトン																				
80	キシレン																				
—	イソプロピルアルコール																				
—	メチルアルコール(メタノール)																				
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																				
—	アセトン																				
392	ノルマルーヘキサン																				
—	シクロヘキサン																				
53	エチルベンゼン																				
128	クロロメタン(塩化メチル)																				
232	N,N-ジメチルホルムアミド																				
318	二硫化炭素																				
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																				
281	トリクロロエチレン																				
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																				
134	酢酸ビニル																				
400	ベンゼン																				
240	スチレン																				
—	ブロピルアルコール																				
157	1,2-ジクロロエタン																				
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																				
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																				
—	クロロエタン																				
262	テトラクロロエチレン																				
86	クレゾール																				
—	ブタノール																				
—	ブチルセロソルブ																				
349	フェノール																				
—	メチルイソブチルケトン																				
—	イソブタノール																				
—	酢酸ブチル																				
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																				
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																				
339	N-ビニル-2-ピロリドン																				
—	その他																				
—	物質別データなし	1,900	436%	569	309%	532	304%	679	427%	499	454%	550	618%	343	390%	322	388%	327	399%	289	336%
	合計	436	100%	184	100%	175	100%	159	100%	110	100%	89	100%	88	100%	83	100%	82	100%	86	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名:日本建材・住宅設備産業協会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	4,419	1014%	3,645	1981%	2,683	1533%	1,732	1089%	1,600	1455%	1,344	1510%	1,257	1428%	983	1184%	812	990%	883	1026%
—	炭化水素類																				
—	酢酸エチル																				
—	メチルエチルケトン																				
80	キシレン	2,256	517%	1,528	830%	1,118	639%	1,073	675%	892	811%	667	749%	594	675%	614	740%	531	648%	556	646%
—	イソプロピルアルコール																				
—	メチルアルコール(メタノール)																				
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)	771	177%	240	130%	243	139%	169	106%	144	131%	103	116%	69	78%	67	81%	71	87%	80	93%
—	アセトン																				
392	ノルマル-ヘキサン																				
—	シクロヘキサン																				
53	エチルベンゼン	449	103%	524	285%	382	218%	401	252%	276	251%	250	281%	239	272%	214	258%	198	241%	217	252%
128	クロロメタン(塩化メチル)																				
232	N,N-ジメチルホルムアミド																				
318	二硫化炭素																				
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																				
281	トリクロロエチレン																				
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																				
134	酢酸ビニル																				
400	ベンゼン																				
240	スチレン																				
—	ブロピルアルコール																				
157	1,2-ジクロロエタン																				
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																				
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																				
—	クロロエタン																				
262	テトラクロロエチレン																				
86	クレゾール																				
—	ブタノール																				
—	ブチルセロソルブ																				
349	フェノール																				
—	メチルイソブチルケトン																				
—	イソブタノール																				
—	酢酸ブチル																				
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート)																				
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																				
339	N-ビニル-2-ピロリドン																				
—	その他	136	31%	122	66%	82	47%	83	52%	71	65%	48	54%	49	56%	44	53%	45	55%	51	59%
—	物質別データなし																				
	合計	436	100%	184	100%	175	100%	159	100%	110	100%	89	100%	88	100%	83	100%	82	100%	86	100%

注1)四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2)年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名:天然ガス鉱業会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																				
—	炭化水素類	2,603	597%	1,665	905%	1,643	939%	2,736	1721%	3,528	3207%	3,281	3687%	3,095	3517%	1,278	1540%	1,105	1348%	1,028	1195%
—	酢酸エチル																				
—	メチルエチルケトン																				
80	キシレン																				
—	イソプロピルアルコール																				
—	メチルアルコール(メタノール)																				
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																				
—	アセトン																				
392	ノルマルーヘキサン																				
—	シクロヘキサン																				
53	エチルベンゼン																				
128	クロロメタン(塩化メチル)																				
232	N,N-ジメチルホルムアミド																				
318	二硫化炭素																				
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																				
281	トリクロロエチレン																				
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																				
134	酢酸ビニル																				
400	ベンゼン																				
240	スチレン																				
—	プロピルアルコール																				
157	1,2-ジクロロエタン																				
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																				
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																				
—	クロロエタン																				
262	テトラクロロエチレン																				
86	クレゾール																				
—	ブタノール																				
—	ブチルセロソルブ																				
349	フェノール																				
—	メチルイソブチルケトン																				
—	イソブタノール																				
—	酢酸ブチル																				
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																				
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																				
339	N-ビニル-2-ピロリドン																				
—	その他																				
—	物質別データなし																				
	合計	436	100%	184	100%	175	100%	159	100%	110	100%	89	100%	88	100%	83	100%	82	100%	86	100%

注1)四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2)年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名:石油連盟

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																				
—	炭化水素類	61,426	14089%	54,859	29815%	53,482	30561%	49,331	31026%	46,108	41916%	43,952	49384%	42,551	48353%	41,853	50425%	39,207	47813%	39,348	45739%
—	酢酸エチル																				
—	メチルエチルケトン																				
80	キシレン																				
—	イソプロピルアルコール																				
—	メチルアルコール(メタノール)																				
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																				
—	アセトン																				
392	ノルマルーヘキサン																				
—	シクロヘキサン																				
53	エチルベンゼン																				
128	クロロメタン(塩化メチル)																				
232	N,N-ジメチルホルムアミド																				
318	二硫化炭素																				
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																				
281	トリクロロエチレン																				
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																				
134	酢酸ビニル																				
400	ベンゼン																				
240	スチレン																				
—	プロピルアルコール																				
157	1,2-ジクロロエタン																				
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																				
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																				
—	クロロエタン																				
262	テトラクロロエチレン																				
86	クレゾール																				
—	ブタノール																				
—	ブチルセロソルブ																				
349	フェノール																				
—	メチルイソブチルケトン																				
—	イソブタノール																				
—	酢酸ブチル																				
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																				
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																				
339	N-ビニル-2-ピロリドン																				
—	その他																				
—	物質別データなし																				
	合計	436	100%	184	100%	175	100%	159	100%	110	100%	89	100%	88	100%	83	100%	82	100%	86	100%

注1)四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2)年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名: 日本化学工業協会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	6,435	1476%	3,447	1873%	2,998	1713%	2,914	1833%	2,390	2173%	2,194	2465%	2,821	3206%	2,415	2910%	1,718	2095%	1,986	2309%
—	炭化水素類	7,165	1643%	6,146	3340%	7,792	4453%	7,143	4492%	4,918	4471%	5,205	5848%	4,560	5182%	4,162	5014%	6,428	7839%	6,125	7120%
—	酢酸エチル	1,664	382%	1,100	598%	1,853	1059%	1,744	1097%	1,199	1090%	1,007	1131%	1,102	1252%			977	1191%	991	1152%
—	メチルエチルケトン	4,307	988%	1,427	776%	1,738	993%	1,316	828%	947	861%	681	765%	820	932%	641	772%	586	715%	581	675%
80	キシレン	1,730	397%	685	372%	568	325%	469	295%	362	329%			241	274%			197	240%	263	306%
—	イソプロピルアルコール																				
—	メチルアルコール(メタノール)	11,089	2543%	6,732	3659%	6,455	3689%	5,847	3677%	5,410	4918%	4,639	5212%	4,790	5443%	4,685	5645%	4,540	5537%	4,939	5741%
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)	5,530	1268%	3,026	1645%	2,172	1241%	1,721	1082%	1,012	920%	1,106	1243%	725	824%	819	987%	983	1199%	765	889%
—	アセトン	6,972	1599%	5,028	2733%	4,755	2717%	4,671	2938%	3,719	3381%	3,682	4137%	3,770	4284%	3,560	4289%	3,277	3996%	3,188	3706%
392	ノルマルーヘキサン	7,627	1749%	6,744	3665%	6,780	3874%	7,759	4880%	6,101	5546%	5,601	6293%	3,290	3739%	2,583	3112%	2,217	2704%	2,369	2754%
—	シクロヘキサン	4,116	944%	2,715	1476%	2,557	1461%	2,701	1699%	2,596	2360%	2,145	2410%	1,516	1723%	1,477	1780%	1,213	1479%	912	1060%
53	エチルベンゼン																				
128	クロロメタン(塩化メチル)	3,371	773%	576	313%	403	230%	313	197%	269	245%	387	435%	263	299%	168	202%	1,374	1676%	1,530	1778%
232	N,N-ジメチルホルムアミド	2,038	467%	189	103%	266	152%	185	116%	150	136%			149	169%			173	211%	164	191%
318	二硫化炭素	2,073	475%	2,883	1567%	2,186	1249%	2,044	1286%	1,837	1670%	1,680	1888%	1,966	2234%	2,140	2578%	1,797	2191%	1,839	2138%
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)	1,879	431%	31	17%	30	17%	22	14%	16	15%	3	3%	15	17%			13	16%	13	15%
281	トリクロロエチレン																				
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	1,197	275%	191	104%	16	9%	10	6%	6	5%			7	8%			4	5%	6	7%
134	酢酸ビニル	1,608	369%	1,032	561%	841	481%	615	387%	537	488%	632	710%	582	661%			485	591%	464	539%
400	ベンゼン	1,561	358%	323	176%	307	175%	284	179%	279	254%	220	247%	212	241%			178	217%	196	228%
240	スチレン	1,330	305%	638	347%	698	399%	630	396%	411	374%	391	439%	270	307%			230	280%	236	274%
—	ブロピルアルコール	1,311	301%	1,109	603%	1,144	654%	897	564%	732	665%	566	636%	651	740%			435	530%	354	411%
157	1,2-ジクロロエタン	1,157	265%	204	111%	184	105%	208	131%	153	139%			148	168%			102	124%	124	144%
94	クロロエチレン(塩化ビニル)	1,072	246%	204	111%	181	103%	176	111%	148	135%			154	175%			132	161%	119	138%
83	クメン(イソプロピルベンゼン)	897	206%	237	129%	270	154%	263	165%	284	258%	219	246%	191	217%			129	157%	172	200%
—	クロロエタン	826	189%	93	51%	77	44%	45	28%	40	36%	78	88%	55	63%			87	106%	75	87%
262	テトラクロロエチレン																				
86	クレゾール																				
—	ブタノール																				
—	ブチルセロソルブ																				
349	フェノール																				
—	メチルイソブチルケトン																				
—	イソブタノール																				
—	酢酸ブチル																				
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート)																				
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																				
339	N-ビニル-2-ピロリドン																				
—	その他	11,854	2719%	5,799	3152%	5,161	2949%							4,364	4959%	7,212	8689%	3,547	4326%	3,598	4182%
—	物質別データなし			131	71%			4,840	3044%	3,790	3445%	4,218	4739%								
	合計	436	100%	184	100%	175	100%	159	100%	110	100%	89	100%	88	100%	83	100%	82	100%	86	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名: 日本印刷産業連合会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	36,860	8454%	19,900	10815%	18,050	10314%	15,600	9811%	13,700	12455%	12,300	13820%	8,200	9318%	6,800	8193%	5,600	6829%	6,000	6974%
—	炭化水素類																				
—	酢酸エチル	20,220	4638%	18,980	10315%	15,000	8571%	12,900	8113%	11,300	10273%	13,800	15506%	9,700	11023%	8,100	9759%	7,600	9268%	8,300	9648%
—	メチルエチルケトン	15,960	3661%	11,830	6429%	11,400	6514%	9,200	5786%	7,900	7182%	7,000	7865%	6,400	7273%	5,800	6988%	3,300	4024%	3,600	4185%
80	キシレン																				
—	イソプロピルアルコール	18,720	4294%	15,000	8152%	13,400	7657%	11,400	7170%	8,000	7273%	8,500	9551%	8,500	9659%	6,300	7590%	6,600	8049%	6,600	7672%
—	メチルアルコール(メタノール)																				
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																				
—	アセトン																				
392	ノルマル-ヘキサン																				
—	シクロヘキサン																				
53	エチルベンゼン																				
128	クロロメタン(塩化メチル)																				
232	N,N-ジメチルホルムアミド																				
318	二硫化炭素																				
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																				
281	トリクロロエチレン																				
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																				
134	酢酸ビニル																				
400	ベンゼン																				
240	スチレン																				
—	プロピルアルコール																				
157	1,2-ジクロロエタン																				
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																				
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																				
—	クロロエタン																				
262	テトラクロロエチレン																				
86	クレゾール																				
—	ブタノール																				
—	ブチルセロソルブ																				
349	フェノール																				
—	メチルイソブチルケトン																				
—	イソブタノール																				
—	酢酸ブチル																				
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																				
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																				
339	N-ビニル-2-ピロリドン																				
—	その他	23,740	5445%	10,890	5918%	13,050	7457%	15,400	9686%	11,600	10545%	8,700	9775%	9,900	11250%	8,500	10241%	11,500	14024%	10,800	12554%
—	物質別データなし																				
	合計	436	100%	184	100%	175	100%	159	100%	110	100%	89	100%	88	100%	83	100%	82	100%	86	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名:ドラム缶工業会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																				
—	炭化水素類																				
—	酢酸エチル																				
—	メチルエチルケトン																				
80	キシレン																				
—	イソプロピルアルコール																				
—	メチルアルコール(メタノール)																				
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																				
—	アセトン																				
392	ノルマルーヘキサン																				
—	シクロヘキサン																				
53	エチルベンゼン																				
128	クロロメタン(塩化メチル)																				
232	N,N-ジメチルホルムアミド																				
318	二硫化炭素																				
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																				
281	トリクロロエチレン																				
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																				
134	酢酸ビニル																				
400	ベンゼン																				
240	スチレン																				
—	プロピルアルコール																				
157	1,2-ジクロロエタン																				
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																				
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																				
—	クロロエタン																				
262	テトラクロロエチレン																				
86	クレゾール																				
—	ブタノール																				
—	ブチルセロソルブ																				
349	フェノール																				
—	メチルイソブチルケトン																				
—	イソブタノール																				
—	酢酸ブチル																				
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																				
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																				
339	N-ビニル-2-ピロリドン																				
—	その他																				
—	物質別データなし	1,763	404%	1,818	988%	1,874	1071%	1,965	1236%	1,617	1470%	1,575	1770%	1,592	1809%	1,570	1892%	1,598	1949%	1,545	1796%
	合計	436	100%	184	100%	175	100%	159	100%	110	100%	89	100%	88	100%	83	100%	82	100%	86	100%

注1)四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2)年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名:軽金属製品協会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	215	49%	180	98%	105	60%	53	33%	70	64%	26	29%	20	23%	26	31%	25	30%	58	67%
—	炭化水素類																				
—	酢酸エチル																				
—	メチルエチルケトン																				
80	キシレン	129	30%	123	67%	106	61%	74	47%	97	88%	71	80%	56	64%	76	92%	83	101%	78	91%
—	イソプロピルアルコール																				
—	メチルアルコール(メタノール)																				
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																				
—	アセトン																				
392	ノルマル-ヘキサン																				
—	シクロヘキサン																				
53	エチルベンゼン	5	1%	9	5%	38	22%	9	6%	39	35%	27	30%	21	24%	35	42%	40	49%	36	42%
128	クロロメタン(塩化メチル)																				
232	N,N-ジメチルホルムアミド																				
318	二硫化炭素																				
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																				
281	トリクロロエチレン																				
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																				
134	酢酸ビニル																				
400	ベンゼン																				
240	スチレン																				
—	ブロピルアルコール																				
157	1,2-ジクロロエタン																				
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																				
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																				
—	クロロエタン																				
262	テトラクロロエチレン																				
86	クレゾール																				
—	ブタノール																				
—	ブチルセロソルブ																				
349	フェノール																				
—	メチルイソブチルケトン																				
—	イソブタノール																				
—	酢酸ブチル																				
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																				
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																				
339	N-ビニル-2-ピロリドン																				
—	その他																				
—	物質別データなし																				
	合計	436	100%	184	100%	175	100%	159	100%	110	100%	89	100%	88	100%	83	100%	82	100%	86	100%

注1)四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2)年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本プラスチック工業連盟

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	5,676	1302%	4,936	2683%	3,963	2265%	3,665	2305%	1,997	1815%	1,720	1933%	961	1092%	1,023	1233%	972	1185%	61	71%
—	炭化水素類	679	156%															530	646%	402	467%
—	酢酸エチル	3,416	783%	6,810	3701%	4,602	2630%	4,337	2728%	3,776	3433%	3,636	4085%	1,594	1811%	2,300	2771%	1,382	1685%	1,573	1828%
—	メチルエチルケトン	137	31%	2,342	1273%	2,153	1230%	2,302	1448%	1,874	1704%	1,731	1945%	1,226	1393%	189	228%	170	207%	299	347%
80	キシレン	24	5%															9	11%	13	15%
—	イソプロピルアルコール	200	46%	703	382%	588	336%	592	372%	485	441%	439	493%	192	218%	127	153%	101	123%	106	123%
—	メチルアルコール(メタノール)	0	0%																	0	0%
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)	1,763	404%	1,486	808%	1,358	776%	1,256	790%	1,062	965%	947	1064%	919	1044%	1,199	1445%	918	1120%	1,040	1209%
—	アセトン	382	88%															3	4%	133	154%
392	ノルマルーヘキサン	0	0%																	0	0%
—	シクロヘキサン	0	0%																	0	0%
53	エチルベンゼン	0	0%																	0	0%
128	クロロメタン(塩化メチル)	0	0%																	0	0%
232	N,N-ジメチルホルムアミド	0	0%	827	449%	988	565%	984	619%	697	634%	518	582%	150	170%	0	0%	0	0%	0	0%
318	二硫化炭素	0	0%																	0	0%
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)	0	0%																	0	0%
281	トリクロロエチレン	0	0%																	0	0%
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	0	0%																	0	0%
134	酢酸ビニル	0	0%																	0	0%
400	ベンゼン	0	0%																	0	0%
240	スチレン	5	1%															3	4%	4	4%
—	ブロピルアルコール	0	0%																	0	0%
157	1,2-ジクロロエタン	0	0%																	0	0%
94	クロロエチレン(塩化ビニル)	0	0%																	0	0%
83	クメン(イソプロピルベンゼン)	0	0%																	0	0%
—	クロロエタン	0	0%																	0	0%
262	テトラクロロエチレン	0	0%																	0	0%
86	クレゾール	0	0%																	0	0%
—	ブタノール	0	0%																	0	0%
—	ブチルセロソルブ	0	0%																	0	0%
349	フェノール	0	0%																	0	0%
—	メチルイソブチルケトン	12	3%															6	7%	7	8%
—	イソブタノール	0	0%																	0	0%
—	酢酸ブチル	0	0%																	0	0%
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート)	0	0%																	0	0%
58	エチレングリコールモノメチルエーテル	0	0%																	0	0%
339	N-ビニル-2-ピロリドン	0	0%																	0	0%
—	その他	246	56%	3,089	1679%	2,461	1406%	2,761	1736%	2,451	2228%	2,364	2656%	1,581	1797%	1,456	1754%	637	777%	928	1078%
—	物質別データなし	51	12%															30	37%	30	35%
	合計	436	100%	184	100%	175	100%	159	100%	110	100%	89	100%	88	100%	83	100%	82	100%	86	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本オフィス家具協会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	257	59%	125	68%	134	77%	114	72%	96	87%	86	97%	67	76%	80	96%	83	101%	70	81%
—	炭化水素類																				
—	酢酸エチル	49	11%	59	32%	63	36%	73	46%	70	64%	59	66%	52	59%	34	41%	33	40%	96	112%
—	メチルエチルケトン																				
80	キシレン	896	206%	498	271%	533	305%	460	289%	365	332%	244	274%	214	243%	192	231%	177	216%	164	191%
—	イソプロピルアルコール																				
—	メチルアルコール(メタノール)																				
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)	30	7%	17	9%	18	10%	20	13%	22	20%	9	10%	15	17%	17	20%	14	17%	14	16%
—	アセトン																			3	3%
392	ノルマル-ヘキサン																	6	7%	1	1%
—	シクロヘキサン																				
53	エチルベンゼン	237	54%	178	97%	191	109%	167	105%	117	106%	81	91%	95	108%	102	123%	92	112%	80	93%
128	クロロメタン(塩化メチル)																				
232	N,N-ジメチルホルムアミド																				
318	二硫化炭素																				
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																				
281	トリクロロエチレン																				
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																				
134	酢酸ビニル																				
400	ベンゼン																				
240	スチレン																				
—	プロピルアルコール																				
157	1,2-ジクロロエタン																				
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																				
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																				
—	クロロエタン																				
262	テトラクロロエチレン																				
86	クレゾール																				
—	ブタノール																				
—	ブチルセロソルブ																				
349	フェノール																				
—	メチルイソブチルケトン	11	3%	3	2%	3	2%	4	3%	5	5%	2	2%	5	6%	7	8%	8	10%	8	9%
—	イソブタノール																				
—	酢酸ブチル																				
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																				
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																				
339	N-ビニル-2-ピロリドン																				
—	その他	496	114%	245	133%	264	151%	262	165%	243	221%	219	246%	231	263%	231	278%	276	337%	291	338%
—	物質別データなし			110	60%																
	合計	436	100%	184	100%	175	100%	159	100%	110	100%	89	100%	88	100%	83	100%	82	100%	86	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本表面処理機材工業会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																				
—	炭化水素類																				
—	酢酸エチル																				
—	メチルエチルケトン																				
80	キシレン																				
—	イソプロピルアルコール	1	0%	1	1%	1	1%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
—	メチルアルコール(メタノール)	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																				
—	アセトン																				
392	ノルマルーヘキサン																				
—	シクロヘキサン																				
53	エチルベンゼン																				
128	クロロメタン(塩化メチル)																				
232	N,N-ジメチルホルムアミド																				
318	二硫化炭素																				
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																				
281	トリクロロエチレン																				
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																				
134	酢酸ビニル																				
400	ベンゼン																				
240	スチレン																				
—	プロピルアルコール																				
157	1,2-ジクロロエタン																				
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																				
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																				
—	クロロエタン																				
262	テトラクロロエチレン																				
86	クレゾール																				
—	ブタノール																				
—	ブチルセロソルブ																				
349	フェノール																				
—	メチルイソブチルケトン																				
—	イソブタノール																				
—	酢酸ブチル																				
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート)																				
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																				
339	N-ビニル-2-ピロリドン																				
—	その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
—	物質別データなし																				
	合計	436	100%	184	100%	175	100%	159	100%	110	100%	89	100%	88	100%	83	100%	82	100%	86	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本自動車車体工業会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	1,539	353%	1,394	758%	1,172	670%	1,035	651%	855	777%	973	1093%	915	1040%	810	976%	872	1063%	814	946%
—	炭化水素類																				
—	酢酸エチル																				
—	メチルエチルケトン																				
80	キシレン	2,246	515%	1,626	884%	1,360	777%	1,172	737%	1,062	965%	1,067	1199%	975	1108%	911	1098%	952	1161%	961	1117%
—	イソプロピルアルコール																				
—	メチルアルコール(メタノール)																				
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																				
—	アセトン																				
392	ノルマルーヘキサン																				
—	シクロヘキサン																				
53	エチルベンゼン	717	164%	796	433%	659	377%	616	387%	600	545%	616	692%	595	676%	487	587%	580	707%	572	665%
128	クロロメタン(塩化メチル)																				
232	N,N-ジメチルホルムアミド																				
318	二硫化炭素																				
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																				
281	トリクロロエチレン																				
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	120	28%	224	122%	255	146%	267	168%	184	167%	212	238%	211	240%	179	216%	199	243%	187	217%
134	酢酸ビニル																				
400	ベンゼン																				
240	スチレン																				
—	プロピルアルコール																				
157	1,2-ジクロロエタン																				
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																				
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																				
—	クロロエタン																				
262	テトラクロロエチレン																				
86	クレゾール																				
—	ブタノール																				
—	ブチルセロソルブ																				
349	フェノール																				
—	メチルイソブチルケトン																				
—	イソブタノール																				
—	酢酸ブチル																				
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																				
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																				
339	N-ビニル-2-ピロリドン																				
—	その他																				
—	物質別データなし	15,678	3596%	15,020	8163%	14,614	8351%	14,913	9379%	11,325	10295%	8,798	9885%	8,452	9605%	8,742	10533%	9,137	11143%	8,908	10355%
	合計	436	100%	184	100%	175	100%	159	100%	110	100%	89	100%	88	100%	83	100%	82	100%	86	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名: 日本接着剤工業会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	171	39%	100	54%	99	57%	89	56%	86	78%	76	85%	69	78%	79	95%	80	98%	79	92%
—	炭化水素類																				
—	酢酸エチル	105	24%	104	57%	108	62%	95	60%	111	101%	91	102%	65	74%	71	86%	71	87%	82	95%
—	メチルエチルケトン	46	11%	36	20%	47	27%	34	21%	33	30%	31	35%	31	35%	33	40%	37	45%	41	48%
80	キシレン	24	6%	21	11%	23	13%	23	14%	20	18%	12	13%	17	19%	17	20%	17	21%	16	19%
—	イソプロピルアルコール																				
—	メチルアルコール(メタノール)	112	26%	92	50%	102	58%	83	52%	31	28%	55	62%	59	67%	54	65%	56	68%	66	77%
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																				
—	アセトン	42	10%	41	22%	36	21%	29	18%	26	24%	24	27%	25	28%	24	29%	24	29%	27	31%
392	ノルマルーヘキサン	45	10%	29	16%	32	18%	28	18%	22	20%	18	20%	19	22%	14	17%	15	18%	17	20%
—	シクロヘキサン	13	3%	32	17%	31	18%	31	19%	26	24%	23	26%	25	28%	24	29%	25	30%	25	29%
53	エチルベンゼン																				
128	クロロメタン(塩化メチル)																				
232	N,N-ジメチルホルムアミド																				
318	二硫化炭素																				
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																				
281	トリクロロエチレン																				
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																				
134	酢酸ビニル																				
400	ベンゼン																				
240	スチレン																				
—	プロピルアルコール																				
157	1,2-ジクロロエタン																				
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																				
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																				
—	クロロエタン																				
262	テトラクロロエチレン																				
86	クレゾール																				
—	ブタノール																				
—	ブチルセロソルブ																				
349	フェノール																				
—	メチルイソブチルケトン																				
—	イソブタノール																				
—	酢酸ブチル																				
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート)																				
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																				
339	N-ビニル-2-ピロリドン																				
—	その他	40	9%	15	8%	10	6%	9	6%	7	6%	6	7%	8	9%	7	8%	6	7%	3	3%
—	物質別データなし																				
	合計	436	100%	184	100%	175	100%	159	100%	110	100%	89	100%	88	100%	83	100%	82	100%	86	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名:プレハブ建築協会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	1,162	267%	675	367%	555	317%	383	241%	322	293%	322	362%	370	420%	331	399%	289	352%	80	93%
—	炭化水素類																				
—	酢酸エチル																				
—	メチルエチルケトン																				
80	キシレン	283	65%	157	85%	230	131%	177	111%	166	151%	165	185%	175	198%	150	181%	134	164%	155	180%
—	イソプロピルアルコール																				
—	メチルアルコール(メタノール)																				
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)	158	36%	51	28%	37	21%	24	15%	15	14%	6	7%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%
—	アセトン																				
392	ノルマル-ヘキサン																				
—	シクロヘキサン																				
53	エチルベンゼン	24	6%	15	8%	23	13%	22	14%	28	25%	26	29%	42	48%	53	64%	64	77%	69	80%
128	クロロメタン(塩化メチル)																	0	0%	0	0%
232	N,N-ジメチルホルムアミド																				
318	二硫化炭素																				
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																				
281	トリクロロエチレン																	0	0%	0	0%
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	44	10%	44	24%	3	2%	2	1%	3	3%	3	3%	2	2%	5	6%	7	9%	5	6%
134	酢酸ビニル	2	0%	2	1%	2	1%	1	1%	1	1%	1	1%	4	4%	2	3%	2	3%	3	3%
400	ベンゼン																	0	0%	0	0%
240	スチレン	1	0%	49	27%	50	29%	16	10%	1	1%	3	3%	3	4%	3	3%	3	3%	3	3%
—	プロピルアルコール																				
157	1,2-ジクロロエタン																				
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																	0	0%	0	0%
83	クメン(イソプロピルベンゼン)													0	0%	2	3%	2	3%	2	2%
—	クロロエタン																				
262	テトラクロロエチレン																				
86	クレゾール																				
—	ブタノール																				
—	ブチルセロソルブ																				
349	フェノール																				
—	メチルイソブチルケトン																				
—	イソブタノール																				
—	酢酸ブチル																				
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート)																				
58	エチレングリコールモノメチルエーテル													0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
339	N-ビニル-2-ピロリドン																				
—	その他	1	0%	1	1%	0	0%	5	3%	6	5%	5	6%	8	10%	10	12%	11	13%	11	13%
—	物質別データなし																				
	合計	436	100%	184	100%	175	100%	159	100%	110	100%	89	100%	88	100%	83	100%	82	100%	86	100%

注1)四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2)年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名:印刷インキ工業連合会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	109	25%	79	43%	78	45%	62	39%	78	71%	60	67%	46	52%	37	45%	36	44%	36	42%
—	炭化水素類																	2	2%	1	1%
—	酢酸エチル	79	18%	55	30%	65	37%	64	40%	61	55%	67	75%	49	56%	43	52%	49	60%	47	55%
—	メチルエチルケトン	81	19%	48	26%	59	34%	47	30%	52	47%	49	55%	37	42%	29	35%	29	35%	27	31%
80	キシレン	27	6%	17	9%	16	9%	9	6%	9	8%	7	8%	8	9%	5	6%	3	4%	3	3%
—	イソプロピルアルコール	46	11%	34	18%	38	22%	34	21%	44	40%	37	42%	33	38%	26	31%	27	33%	32	37%
—	メチルアルコール(メタノール)	15	3%	10	5%	9	5%	5	3%	7	6%	7	8%	3	3%	4	5%	2	2%	2	2%
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																	0	0%	0	0%
—	アセトン																	—		—	
392	ノルマルーヘキサン																	—		—	
—	シクロヘキサン																	—		—	
53	エチルベンゼン																	2	2%	2	2%
128	クロロメタン(塩化メチル)																	0	0%	—	
232	N,N-ジメチルホルムアミド																	—		—	
318	二硫化炭素																	0	0%		
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																	0	0%		
281	トリクロロエチレン																	0	0%		
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																	3	4%	4	5%
134	酢酸ビニル																	—			
400	ベンゼン																	0	0%		
240	スチレン																	—			
—	プロピルアルコール																	—		—	
157	1,2-ジクロロエタン																				
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																				
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																	—		0	0%
—	クロロエタン																				
262	テトラクロロエチレン																	0	0%		
86	クレゾール																				
—	ブタノール																	—		—	
—	ブチルセロソルブ																	6	7%		
349	フェノール																	0	0%		
—	メチルイソブチルケトン																	4	5%	4	5%
—	イソブタノール																	1	1%		
—	酢酸ブチル																	3	4%	6	7%
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート)																	—		0	0%
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																	3	4%	0	0%
339	N-ビニル-2-ピロリドン																	0	0%		
—	その他	60	14%	53	29%	52	30%	46	29%	47	43%	55	62%	80	91%	57	69%	69	84%	78	91%
—	物質別データなし	6	1%	17	9%	17	10%	2	1%					27	31%	4	5%	4	5%	15	17%
	合計	436	100%	184	100%	175	100%	159	100%	110	100%	89	100%	88	100%	83	100%	82	100%	86	100%

注1)四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2)年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名: 日本工業塗装協同組合連合会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																				
—	炭化水素類	364	83%	364	198%	371	212%	410	258%	373	339%	368	413%	253	288%	242	292%	234	285%	243	282%
—	酢酸エチル																				
—	メチルエチルケトン																				
80	キシレン	493	113%	493	268%	502	287%	555	349%	505	459%	489	549%	342	389%	328	395%	299	365%	330	384%
—	イソプロピルアルコール																				
—	メチルアルコール(メタノール)																				
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																				
—	アセトン																				
392	ノルマル-ヘキサン																				
—	シクロヘキサン																				
53	エチルベンゼン	163	37%	163	89%	165	94%	183	115%	166	151%	164	184%	113	128%	108	130%	105	128%	109	127%
128	クロロメタン(塩化メチル)																				
232	N,N-ジメチルホルムアミド																				
318	二硫化炭素																				
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																				
281	トリクロロエチレン																				
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																				
134	酢酸ビニル																				
400	ベンゼン																				
240	スチレン																				
—	ブロピルアルコール																				
157	1,2-ジクロロエタン																				
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																				
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																				
—	クロロエタン																				
262	テトラクロロエチレン																				
86	クレゾール																				
—	ブタノール	161	37%	161	88%	163	93%	181	114%	164	149%	162	182%	111	126%	107	129%	105	128%	107	124%
—	ブチルセロソルブ																				
349	フェノール																				
—	メチルイソブチルケトン																				
—	イソブタノール																				
—	酢酸ブチル																				
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																				
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																				
339	N-ビニル-2-ピロリドン																				
—	その他	705	162%	705	383%	717	410%	793	499%	722	656%	711	799%	539	613%	517	623%	510	622%	520	604%
—	物質別データなし	72	17%	72	39%	74	42%	81	51%	75	68%	82	92%								
	合計	436	100%	184	100%	175	100%	159	100%	110	100%	89	100%	88	100%	83	100%	82	100%	86	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本ゴム工業会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																				
—	炭化水素類																				
—	酢酸エチル																				
—	メチルエチルケトン																				
80	キシレン																				
—	イソプロピルアルコール																				
—	メチルアルコール(メタノール)																				
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																				
—	アセトン																				
392	ノルマルーヘキサン																				
—	シクロヘキサン																				
53	エチルベンゼン																				
128	クロロメタン(塩化メチル)																				
232	N,N-ジメチルホルムアミド																				
318	二硫化炭素																				
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																				
281	トリクロロエチレン																				
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																				
134	酢酸ビニル																				
400	ベンゼン																				
240	スチレン																				
—	ブロピルアルコール																				
157	1,2-ジクロロエタン																				
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																				
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																				
—	クロロエタン																				
262	テトラクロロエチレン																				
86	クレゾール																				
—	ブタノール																				
—	ブチルセロソルブ																				
349	フェノール																				
—	メチルイソブチルケトン																				
—	イソブタノール																				
—	酢酸ブチル																				
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																				
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																				
339	N-ビニル-2-ピロリドン																				
—	その他																				
—	物質別データなし	22,221	5097%	19,116	10389%	17,940	10251%	17,134	10776%	14,223	12930%	11,219	12606%	11,573	13151%	10,304	12414%	8,829	10767%	8,293	9640%
	合計	436	100%	184	100%	175	100%	159	100%	110	100%	89	100%	88	100%	83	100%	82	100%	86	100%

注1)四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2)年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名: 日本自動車車体整備協同組合連合会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																				
—	炭化水素類																				
—	酢酸エチル																				
—	メチルエチルケトン																				
80	キシレン																				
—	イソプロピルアルコール																				
—	メチルアルコール(メタノール)																				
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																				
—	アセトン																				
392	ノルマルーヘキサン																				
—	シクロヘキサン																				
53	エチルベンゼン																				
128	クロロメタン(塩化メチル)																				
232	N,N-ジメチルホルムアミド																				
318	二硫化炭素																				
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																				
281	トリクロロエチレン																				
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																				
134	酢酸ビニル																				
400	ベンゼン																				
240	スチレン																				
—	ブロピルアルコール																				
157	1,2-ジクロロエタン																				
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																				
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																				
—	クロロエタン																				
262	テトラクロロエチレン																				
86	クレゾール																				
—	ブタノール																				
—	ブチルセロソルブ																				
349	フェノール																				
—	メチルイソブチルケトン																				
—	イソブタノール																				
—	酢酸ブチル																				
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																				
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																				
339	N-ビニル-2-ピロリドン																				
—	その他																				
—	物質別データなし	245	56%	245	133%	414	237%	391	246%	338	307%	364	409%	367	417%	364	439%	362	441%	349	406%
	合計	436	100%	184	100%	175	100%	159	100%	110	100%	89	100%	88	100%	83	100%	82	100%	86	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本粘着テープ工業会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	13,401	3074%	7,788	4233%	6,482	3704%	5,434	3418%	5,545	5041%	4,315	4848%	3,663	4163%	3,291	3965%	3,001	3660%	2,794	3248%
—	炭化水素類																				
—	酢酸エチル	4,931	1131%	2,645	1438%	1,505	860%	1,700	1069%	1,130	1027%	946	1063%	539	613%	538	648%	539	657%	476	553%
—	メチルエチルケトン	774	178%	326	177%	286	163%	293	184%	248	225%	270	303%	146	166%	62	75%	102	124%	93	108%
80	キシレン	45	10%	13	7%	13	7%	12	8%	30	27%	30	34%	5	6%	30	36%	1	1%	1	1%
—	イソプロピルアルコール																				
—	メチルアルコール(メタノール)																				
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																				
—	アセトン																				
392	ノルマルーヘキサン	726	167%	294	160%	858	490%	664	418%	977	888%	420	472%	232	264%	432	520%	512	624%	631	733%
—	シクロヘキサン																				
53	エチルベンゼン																				
128	クロロメタン(塩化メチル)																				
232	N,N-ジメチルホルムアミド																				
318	二硫化炭素																				
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																				
281	トリクロロエチレン																				
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																				
134	酢酸ビニル																				
400	ベンゼン																				
240	スチレン																				
—	プロピルアルコール																				
157	1,2-ジクロロエタン																				
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																				
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																				
—	クロロエタン																				
262	テトラクロロエチレン																				
86	クレゾール																				
—	ブタノール																				
—	ブチルセロソルブ																				
349	フェノール																				
—	メチルイソブチルケトン																				
—	イソブタノール																				
—	酢酸ブチル																				
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																				
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																				
339	N-ビニル-2-ピロリドン																				
—	その他	1,311	301%	1,232	670%	1,272	727%	739	465%	679	617%	611	687%	486	552%	265	319%	309	377%	340	395%
—	物質別データなし																				
	合計	436	100%	184	100%	175	100%	159	100%	110	100%	89	100%	88	100%	83	100%	82	100%	86	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名: 全国楽器協会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	110	25%	110	60%	110	63%	110	69%	35	32%	25	28%	23	26%	22	27%	21	26%	18	21%
—	炭化水素類																				
—	酢酸エチル																				
—	メチルエチルケトン																				
80	キシレン	41	9%	41	22%	41	23%	41	26%	19	17%	10	11%	6	7%	6	7%	5	6%	5	6%
—	イソプロピルアルコール																				
—	メチルアルコール(メタノール)																				
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)	9	2%	9	5%	9	5%	9	6%	12	11%	13	15%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
—	アセトン																				
392	ノルマルーヘキサン																				
—	シクロヘキサン																				
53	エチルベンゼン																				
128	クロロメタン(塩化メチル)																				
232	N,N-ジメチルホルムアミド																				
318	二硫化炭素																				
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																				
281	トリクロロエチレン																				
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																				
134	酢酸ビニル																				
400	ベンゼン																				
240	スチレン	81	19%	81	44%	81	46%	81	51%	36	33%	29	33%	27	31%	27	33%	20	25%	21	24%
—	プロピルアルコール																				
157	1,2-ジクロロエタン																				
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																				
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																				
—	クロロエタン																				
262	テトラクロロエチレン																				
86	クレゾール																				
—	ブタノール																				
—	ブチルセロソルブ																				
349	フェノール																				
—	メチルイソブチルケトン																				
—	イソブタノール																				
—	酢酸ブチル																				
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																				
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																				
339	N-ビニル-2-ピロリドン																				
—	その他																				
—	物質別データなし																				
	合計	436	100%	184	100%	175	100%	159	100%	110	100%	89	100%	88	100%	83	100%	82	100%	86	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名: 日本釣用品工業会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																				
—	炭化水素類																				
—	酢酸エチル																				
—	メチルエチルケトン																				
80	キシレン																				
—	イソプロピルアルコール																				
—	メチルアルコール(メタノール)																				
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)	110	25%	80	43%	79	45%	80	50%	78	71%	78	88%	69	78%	63	76%	66	80%	70	81%
—	アセトン																				
392	ノルマルーヘキサン																				
—	シクロヘキサン																				
53	エチルベンゼン																				
128	クロロメタン(塩化メチル)																				
232	N,N-ジメチルホルムアミド																				
318	二硫化炭素																				
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																				
281	トリクロロエチレン																				
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																				
134	酢酸ビニル																				
400	ベンゼン																				
240	スチレン																				
—	ブロピルアルコール																				
157	1,2-ジクロロエタン																				
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																				
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																				
—	クロロエタン																				
262	テトラクロロエチレン																				
86	クレゾール																				
—	ブタノール																				
—	ブチルセロソルブ																				
349	フェノール																				
—	メチルイソブチルケトン																				
—	イソブタノール																				
—	酢酸ブチル																				
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																				
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																				
339	N-ビニル-2-ピロリドン																				
—	その他																				
—	物質別データなし																				
	合計	436	100%	184	100%	175	100%	159	100%	110	100%	89	100%	88	100%	83	100%	82	100%	86	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

#NAME?

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン	#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?	
—	炭化水素類	#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?	
—	酢酸エチル	#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?	
—	メチルエチルケトン	#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?	
80	キシレン	#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?	
—	イソブロピルアルコール	#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?	
—	メチルアルコール(メタノール)	#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?	
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)	#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?	
—	アセトン	#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?	
392	ノルマルーヘキサン	#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?	
—	シクロヘキサン	#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?	
53	エチルベンゼン	#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?	
128	クロロメタン(塩化メチル)	#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?	
232	N,N-ジメチルホルムアミド	#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?	
318	二硫化炭素	#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?	
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)	#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?	
281	トリクロロエチレン	#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?	
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?	
134	酢酸ビニル	#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?	
400	ベンゼン	#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?	
240	スチレン	#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?	
—	ブロピルアルコール	#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?	
157	1,2-ジクロロエタン	#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?	
94	クロロエチレン(塩化ビニル)	#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?	
83	クメン(イソブロピルベンゼン)	#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?	
—	クロロエタン	#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?	
262	テトラクロロエチレン	#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?	
86	クレゾール	#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?	
—	ブタノール	#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?	
—	ブチルセロソルブ	#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?	
349	フェノール	#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?	
—	メチルイソブチルケトン	#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?	
—	イソブタノール	#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?	
—	酢酸ブチル	#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?	
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)	#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?	
58	エチレングリコールモノメチルエーテル	#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?	
339	N-ビニル-2-ピロリドン	#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?	
—	その他	#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?	
—	物質別データなし	#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?		#NAME?	
合計		436	100%	184	100%	175	100%	159	100%	110	100%	89	100%	88	100%	83	100%	82	100%	86	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本金属洋食器工業組合

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																				
—	炭化水素類																				
—	酢酸エチル																				
—	メチルエチルケトン																				
80	キシレン																				
—	イソプロピルアルコール																				
—	メチルアルコール(メタノール)																				
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																				
—	アセトン																				
392	ノルマルーヘキサン																				
—	シクロヘキサン																				
53	エチルベンゼン																				
128	クロロメタン(塩化メチル)																				
232	N,N-ジメチルホルムアミド																				
318	二硫化炭素																				
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																				
281	トリクロロエチレン	201	46%	201	109%	201	115%	201	126%	201	183%	39	44%	33	37%	29	35%	28	34%	28	33%
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																				
134	酢酸ビニル																				
400	ベンゼン																				
240	スチレン																				
—	ブロピルアルコール																				
157	1,2-ジクロロエタン																				
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																				
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																				
—	クロロエタン																				
262	テトラクロロエチレン																				
86	クレゾール																				
—	ブタノール																				
—	ブチルセロソルブ																				
349	フェノール																				
—	メチルイソブチルケトン																				
—	イソブタノール																				
—	酢酸ブチル																				
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート)																				
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																				
339	N-ビニル-2-ピロリドン																				
—	その他																				
—	物質別データなし																				
合計		436	100%	184	100%	175	100%	159	100%	110	100%	89	100%	88	100%	83	100%	82	100%	86	100%

注1) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名：日本ガス石油機器工業会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																				
—	炭化水素類																				
—	酢酸エチル																				
—	メチルエチルケトン																				
80	キシレン																				
—	イソプロピルアルコール																				
—	メチルアルコール(メタノール)																				
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																				
—	アセトン																				
392	ノルマルーヘキサン																				
—	シクロヘキサン																				
53	エチルベンゼン																				
128	クロロメタン(塩化メチル)																				
232	N,N-ジメチルホルムアミド																				
318	二硫化炭素																				
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																				
281	トリクロロエチレン																				
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																				
134	酢酸ビニル																				
400	ベンゼン																				
240	スチレン																				
—	ブロピルアルコール																				
157	1,2-ジクロロエタン																				
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																				
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																				
—	クロロエタン																				
262	テトラクロロエチレン																				
86	クレゾール																				
—	ブタノール																				
—	ブチルセロソルブ																				
349	フェノール																				
—	メチルイソブチルケトン																				
—	イソブタノール																				
—	酢酸ブチル																				
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																				
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																				
339	N-ビニル-2-ピロリドン																				
—	その他																				
—	物質別データなし	765	175%	765	416%	765	437%	581	365%	526	478%	499	561%	513	583%	588	708%	529	645%	560	651%
	合計	436	100%	184	100%	175	100%	159	100%	110	100%	89	100%	88	100%	83	100%	82	100%	86	100%

注1)四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2)年間排出量には、推計値を含む場合がある。

物質別VOC排出量

団体名:産業環境管理協会

PRTR 政令 番号	物質名	【12年度】		【17年度】		【18年度】		【19年度】		【20年度】		【21年度】		【22年度】		【23年度】		【24年度】		【25年度】	
		(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比	(トン)	合計比
300	トルエン																				
—	炭化水素類																				
—	酢酸エチル																				
—	メチルエチルケトン																				
80	キシレン																				
—	イソプロピルアルコール																				
—	メチルアルコール(メタノール)																				
186	ジクロロメタン(塩化メチレン)																				
—	アセトン																				
392	ノルマルーヘキサン																				
—	シクロヘキサン																				
53	エチルベンゼン																				
128	クロロメタン(塩化メチル)																				
232	N,N-ジメチルホルムアミド																				
318	二硫化炭素																				
103	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(HCFC-142b)																				
281	トリクロロエチレン																				
297	1,3,5-トリメチルベンゼン																				
134	酢酸ビニル																				
400	ベンゼン																				
240	スチレン																				
—	ブロピルアルコール																				
157	1,2-ジクロロエタン																				
94	クロロエチレン(塩化ビニル)																				
83	クメン(イソプロピルベンゼン)																				
—	クロロエタン																				
262	テトラクロロエチレン																				
86	クレゾール																				
—	ブタノール																				
—	ブチルセロソルブ																				
349	フェノール																				
—	メチルイソブチルケトン																				
—	イソブタノール																				
—	酢酸ブチル																				
133	酢酸2-エトキシエチル(エチレングリコールモノエチルエーテルアセート)																				
58	エチレングリコールモノメチルエーテル																				
339	N-ビニル-2-ピロリドン																				
—	その他																				
—	物質別データなし	2,600	596%	2,600	1413%	2,586	1478%	2,563	1612%	2,109	1917%	1,385	1556%	1,666	1893%	1,784	2149%	1,576	1922%	1,578	1834%
	合計	436	100%	184	100%	175	100%	159	100%	110	100%	89	100%	88	100%	83	100%	82	100%	86	100%

注1)四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注2)年間排出量には、推計値を含む場合がある。